PIONEER
音と光の未来をひらく







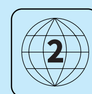

DVD LDプレーヤー

DVL-909

取扱説明書

高調波ガイドライン適合品

NTSC



パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に、本書および別冊の「安全上のご注意」は必ずお読みください。
なお、「取扱説明書」および「安全上のご注意」は「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。

●業務用には対応していません。

❏ 初めに、「ご使用の前に」（6ページ）、「接続のしかた」（50〜53ページ）をご覧ください。
❏ 9〜14ページをお読みいただければ、再生ができます。



安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

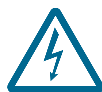
警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

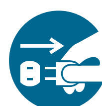
絵表示の例



△ 記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



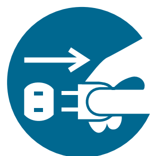
⃠ 記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

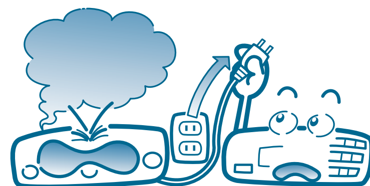
安全上のご注意（別冊の「安全上のご注意」もお読みください。）

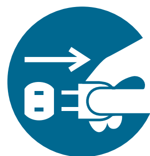
警告 ［異常時の処理］



プラグを抜け

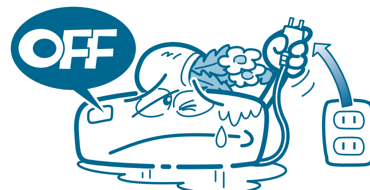
●万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

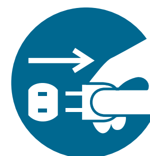




プラグを抜け

●万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。





プラグを抜け

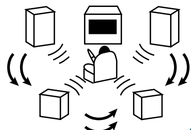
●万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
本書はマークによる機能の説明をしています。



こんなことができます

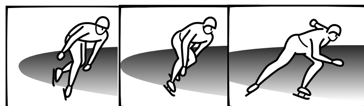
Dolby Digital*

デジタルサラウンドアンプやサラウンドプロセッサーと接続して、5.1ch ドルビーデジタルサラウンド音声を楽しむことができます。



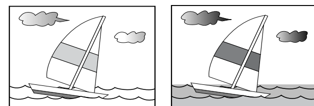
静止画、コマ送り * P.22

静止画、コマ送りができます。



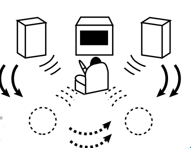
V-DNR* P.33

再生するソフトに応じた画質調整ができます。



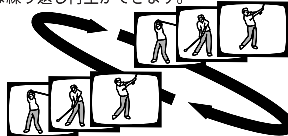
Virtual Dolby Surround*,** P.33

現在お使いいただいているステレオシステムでも立体感のある仮想音場を楽しめます。
(効果の無い（少ない）ものもあります。)



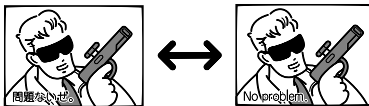
リピート再生 * P.21

いろいろな繰り返し再生ができます。



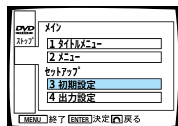
マルチ言語字幕 * P.29

映画などで字幕の言語を切り替えて見ることができます。



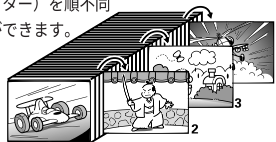
GUI 操作 P.37

パイオニア独自の美しいGUI画面で画面を見ながらリモコンで操作ができます。ディスクにメニューが入っていなくても、プレイヤーの持っているメニュー画面で GUI 操作ができます。



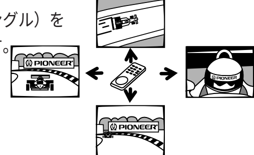
ランダム再生 * P.23

曲（またはチャプター）を順不同に再生することができます。



マルチアングル * P.29

見たいシーン（アングル）を選ぶことができます。



LD 両面再生 * P.10

LD では、ディスクを入れ換えることなく表面と裏面の両面を再生できます。



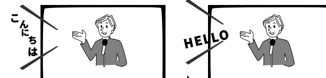
プログラム再生 * P.20

好きなタイトルやチャプターを希望の順番に並べ替えて再生できます。



マルチ音声 * P.28

複数の音声を収録してあるディスクではその音声を切り替えてお楽しみいただけます。



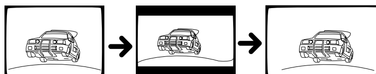
つづき再生（ラストメモリー）* P.14

映画等で途中でやめても次に同じ状態でつづきから見ることができます。



マルチアスペクト * P.26

ふつうの画面、ワイド画面、レターボックス画面の中からお好みの画面を選ぶことができます。



パレンタルレベル * P.45

再生するソフトの視聴制限レベルを選ぶことができます。



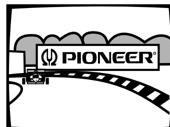
シネマモード、アニメモード P.31

映画やアニメに適した画質で見ることができます。



PBC 付きビデオ CD 対応 P.16

プレイバックコントロール（PBC）付きビデオ CD（バージョン 2.0）に対応し、ディスクによって 2 種類の再生を楽しむことができます。



パワーオンデモ表示

パワーオンデモ表示にすると、さまざまな表示がみられます。パワーオンデモ表示にするには本体の ►►►►I ボタンを押しながら電源スイッチを押してください。
デモ表示は、いずれかのボタンを押すと解除します。

コンディションメモリー P.27

よく見る DVD の各種設定を記録し、その記録内容を自動的に呼びだします。
- マルチアスペクト
- シネマモード／アニメモード
- マルチ言語字幕
- マルチ音声
- 表示位置

* ディスクによってできないものもあります。
** 本機は SRS 社の TruSurround 方式 TruSurround を採用しています。
TruSurround は SRS Labs, Inc. の商標です。SRS と SRS のマークは、米国およびその他数カ国における SRS Labs, Inc. の登録商標です。TruSurround の技術は SRS Labs, Inc. によって使用許諾が登録されています。

目　次

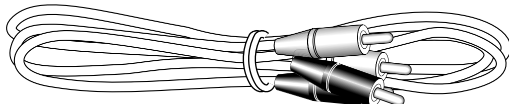
基本操作
応用操作
いろいろな設定
準備
その他

*ディスクの機能によっては働きません。

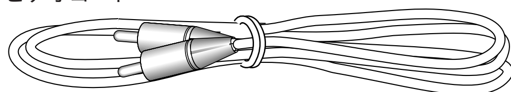
ご使用のまえに

付属品を確認しよう

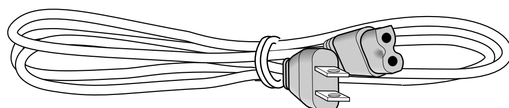
オーディオコード



ビデオコード

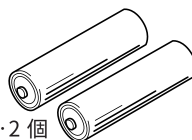


電源コード



リモートコントロールユニット
（リモコン）





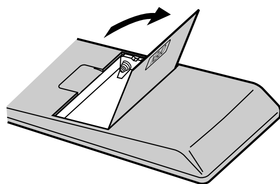
単４形（R03）乾電池……２個

その他一緒に入っているもの

- ●保証書
- ●ご相談窓口・修理窓口のご案内
- ●取扱説明書（本書）
- ●安全上のご注意

リモコンに電池を入れる

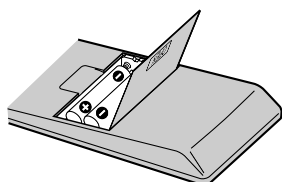
1



裏ブタを押しながら矢印の方向へ引きます

●フタが開きます。

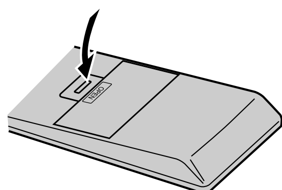
2



単４形電池を入れる

●乾電池のプラス（＋）とマイナス（－）の向きをリモコン内部の表示通りに入れてください。

3



フタを閉める

注意！

◆ 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
◆ 乾電池は同じ形状のもので電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
◆ 長い間（1ヵ月以上）使用しないときは、乾電池の液漏れを防ぐために乾電池を取り出してください。
もし、液漏れを起したときは、ケース内についた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れてください。

使用上の注意

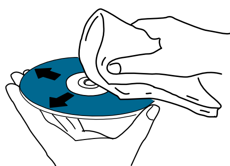
ディスクの取り扱いかた

■保管

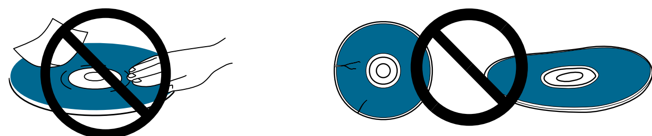
●必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
●ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

■ディスクのお手入れ

●ディスクに指紋やホコリが付いた場合、音質や画質が低下することがあります。柔らかい布で内周から外周方向へ軽く拭いてください。

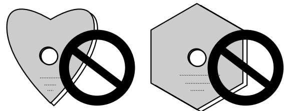


●ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。またレコードスプレー、帯電防止剤などは使用できません。
●ディスクの清掃には別売のディスククリーニングセット（JV-D11）の使用をおすすめします。
●汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。
●損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。
●レーベル面に紙やシールなどを貼付けたり、キズなどをつけないようにしてください。ノリなどがはみ出した場合、ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因になります。**特に、レンタルディスクにおいてはラベルが貼ってある場合が多く、このような故障が起こる恐れがありますので、のりなどのはみ出しを確認してから、ご使用ください。**



特殊な形状の CD は使用しないでください。

ハートの形など、円形以外の形状のCDは使用しないでください。使用すると故障の原因になります。



レンズクリーナーについて

ご使用中にホコリなどにより不具合が発生したときはアフターサービスの項（61ページ）をお読みの上、清掃をご依頼ください。なお、市販されているCDレンズクリーニングディスクには、レンズを破損するあるいはディスクが取り出せなくなるおそれがありますのでご注意ください。

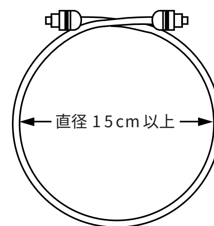
結露について

冬期などに本機を寒いところから温かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部やレンズ）に水滴が付きます（結露）。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて1〜2時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。
夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。



別売りの光ファイバーケーブル取扱上のご注意

●急な角度に折り曲げないでください。保管するときは、直径が 15cm 以上になるようにしてください。
●接続の際はしっかり奥まで差し込んでください。
●長さが 3m 以下のものを使用してください。
●プラグに傷やほこりが付着したときは、柔らかい布で拭いてから接続してください。



この製品には、マクロビジョンコーポレーション及びその他の権利者が所有している米国特許の方法クレームその他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、マクロビジョンコーポレーションの許可が必要ですが、家庭及びその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。またリバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

本機で再生できるディスクの種類

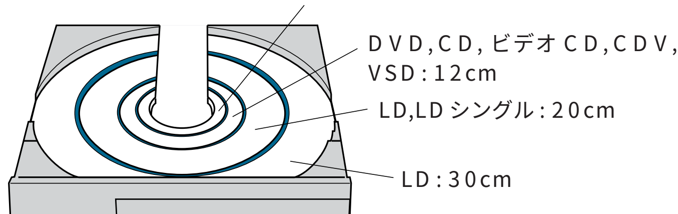
●右表に表示されているマークはディスクレーベル、またはジャケットに付いています。
本機は右表のディスクをアダプター無しで、再生することができます。
●故障などを防ぐため、8cm アダプター（CD 用）は使わないでください。

本機は NTSC（日本のテレビ方式）に適合しています。
右表以外のディスクは使用できません。
＊ DVD の再生時間は、1 秒間に 4.7 Mbit を転送した場合のものです。

ディスクの持ちかた

	LD	DVD、CD など
両手で持つ場合		
片手で持つ場合		

ディスクテーブル



注意！
◆本機の後面部に表示されているリージョン No.（60 ページ、用語を参照）を含まない DVD は再生できません。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ／再生面		最大再生時間
DVD ビデオ (DVD VIDEO)	DVD ビデオ		デジタル音声 デジタル映像 （MPEG 2 方式）
	12cm/ 片面	1 層	133 分*
		2 層	242 分*
	12cm/ 両面	1 層	266 分*
		2 層	484 分*
	DVD ビデオ		デジタル音声 デジタル映像 （MPEG 2 方式）
	8cm/ 片面	1 層	41 分 *
		2 層	75 分 *
	8cm/ 両面	1 層	82 分 *
		2 層	150 分 *
ビデオ CD (COMPACT disc DIGITAL VIDEO)	VIDEO CD 12cm/ 片面		デジタル音声 デジタル映像 （MPEG 1 方式） 74 分
	VIDEO CD シングル 8cm/ 片面		デジタル音声 デジタル映像 （MPEG 1 方式） 20 分
CD (COMPACT disc DIGITAL AUDIO) CD グラフィックス (GRAPHICS)	CD 12cm/ 片面		デジタル音声 74 分
	CD シングル 8cm/ 片面		デジタル音声 20 分
CDV (CD VIDEO)	CDV 12cm/ 片面		デジタル音声 20 分 デジタル音声 ＋映像 5 分
VSD (VIDEO SINGLE DISC)	VSD 12cm/ 片面		デジタル音声 ＋映像 5 分
レーザーディスク (LASER DISC, LaserVision, CD VIDEO LD, LD·G LASER DISC GRAPHICS （LD グラフィックス）)	LD 30cm/ 両面	CAV	1 時間
		CLV	2 時間
	LD 20cm/ 両面	CAV	28 分
		CLV	40 分
	LD シングル 20cm/ 片面	CAV	14 分
		CLV	20 分

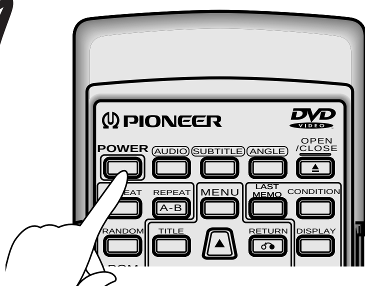
上記以外は再生できません。
故障などを防ぐため上記以外は再生しないでください。
（例）　DVD オーディオ、CD-ROM、LD-ROM、DVD-ROM、ハイビジョン LD 等

基本操作



LD を再生する

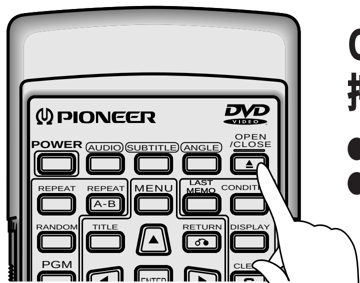
1



POWER ボタンを押す

●本体のSTANDBYインジケーターが消灯します。

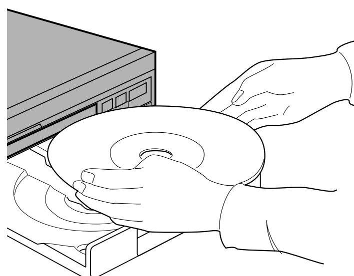
2



OPEN/CLOSE▲ ボタンを押す

●本体では LD ▲ ボタンを押します。
●ディスクテーブルがでてきます。

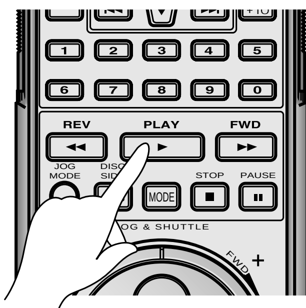
3



ディスクを置く

●LD の片面ディスクはレーベル面を上に、両面ディスクは見たいレーベル面を上にして、ディスクテーブルのガイドに合わせて置きます。

4



PLAY▶ ボタンを押す

●ディスクテーブルが閉まり、再生がはじまります。
●本体では PLAY/PAUSE▶/❚❚ ボタンを押します。
●LDの両面ディスクでは、上にした面を最後まで再生すると、続けて下にした面を再生します。

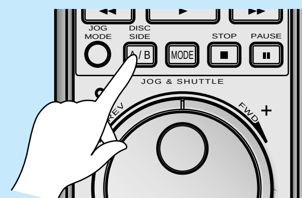
ポイント

● 本体の表示部消灯ボタン（FL OFF）を押して、表示部を消すことができます。このとき、ボタンの上のインジケーターが点灯します。



ポイント

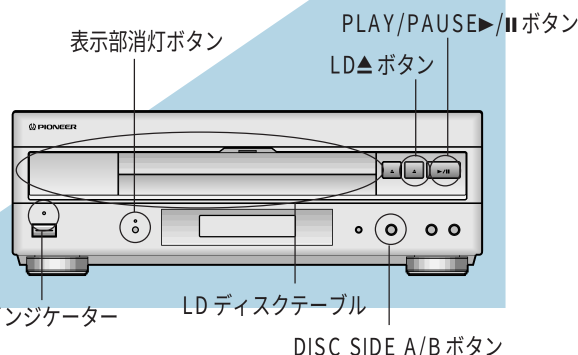
● ＬＤの両面ディスクでA面とはディスクテーブルに置いたときの上側をさし、B面は下側をさします。ディスク自体に記録されたA面、B面とは異なります。



リモコンの DISC SIDE A/B ボタンを押すごとに、A面（SIDE A）、B面（SIDE B）と切り替わり、本体のA面またはB面のインジケーターが点灯して、現在の面を確認できます。

注意！

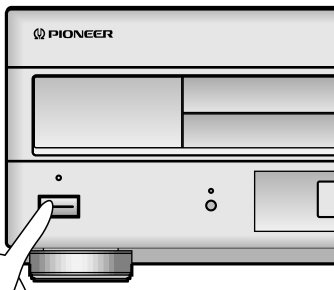
◆ ディスクテーブルのガイドからはずれてディスクをセットしたり、一度に2枚のディスクをセットするとディスクを傷つけたり、本体の故障の原因になります。



DVD/CD/ビデオ CD を再生する

DVD CD Video CD

1

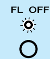


POWER ボタンを押す

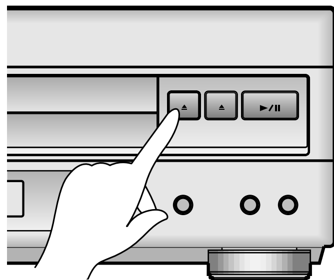
●本体の STANDBY インジケーターが消灯します。

ポイント

● 映画の雰囲気をこわさないようにするために本体の表示部消灯ボタン（FL OFF）を押して、表示部を消すことができます。このとき、ボタンの上のインジケーターが点灯します。



2



DVD/CD▲ ボタンを押す

● DVD/CD ディスクテーブルがでてきます。
● リモコンでは OPEN/CLOSE▲ボタンを押します。LD ディスクテーブルと DVD/CD ディスクテーブルがでてきます。

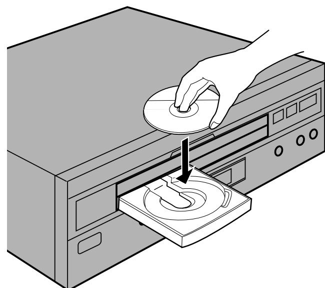
注意！

◆再生可能地域番号（リージョン NO.）（60 ページ参照）が適合していない DVD は再生できません。
◆ DVD ビデオ以外の DVD は再生できません。
◆操作中につぎのマークがテレビ画面に出ることがあります。



：本機自体が禁止している操作をしたとき。
：ディスク自体が禁止している操作をしたとき。

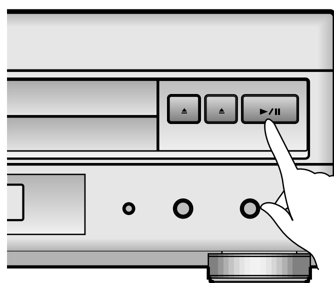
3



ディスクを置く

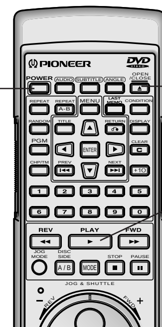
●レーベル面を上にして、ディスクテーブルのガイドに合わせて置きます。

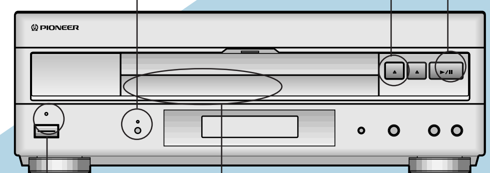
4



PLAY/PAUSE▶/II ボタンを押す

●ディスクテーブルが閉まり、再生がはじまります。
●リモコンでは PLAY▶ボタンを押します。
●ディスクによっては、メニュー（選択画面）が表示されます。メニューが表示された場合は 16 ページを参照してください。







以前に再生したディスクの種類や開閉したディスクテーブルの種類により再生を開始する時間が異なることがあります。

基本操作 応用操作 いろいろな設定 準備 その他

チャプター（トラック）を進める／戻す

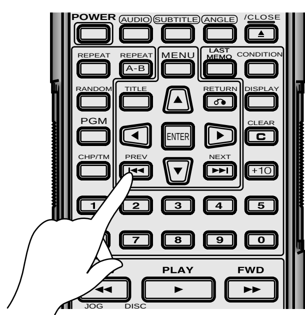
次のチャプター（トラック）へ進む



NEXT▶▶I ボタンを押す

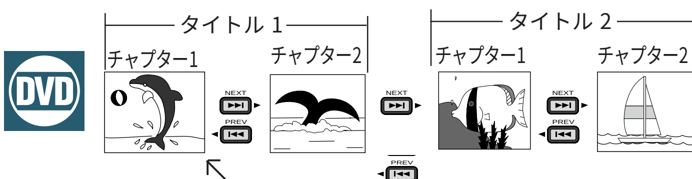
●押すと次のチャプター（トラック）に進みます。
●本体では FWD ▶▶ ▶▶I ボタンが同じ働きです。

前のチャプター（トラック）へ戻る

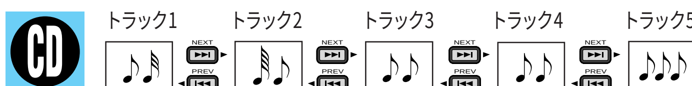


PREV I◀◀ ボタンを押す

●一度押すと再生しているチャプター（トラック）の初めに戻ります。
●さらに押すと、ひとつ前のチャプター（トラック）に戻ります。
●本体では REV I◀◀ ◀◀ ボタンが同じ働きです。









早送りのしかた



2つの方法があります。

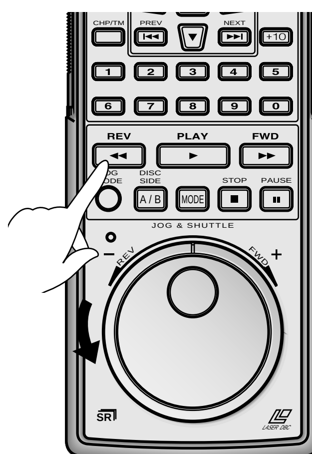
FWD▶▶ボタンを押しつづける

●画面の「スキャン」表示が点滅中は、押すのをやめると再生に戻ります。
●「スキャン」表示が点灯に変わると、押すのをやめても早送りしつづけます。目的のところまできたらPLAY ▶ボタンを押して再生にしてください。
●本体では FWD ▶▶ ▶▶I ボタンが同じ働きです。

シャトルリングを右に回す

●回す量により、ふつうの速度から約30倍速まで変化します。手を離すと通常の再生に戻ります。

早戻しのしかた



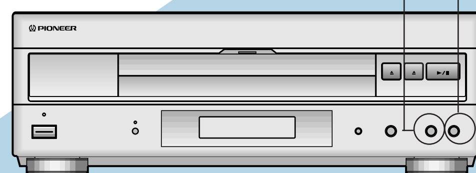
2つの方法があります。

REV◀◀ボタンを押しつづける

●画面の「スキャン」表示が点滅中は、押すのをやめると再生に戻ります。
●「スキャン」表示が点灯に変わると、押すのをやめても早戻ししつづけます。目的のところまできたらPLAY ▶ボタンを押して再生にしてください。
●本体では REV I◀◀ ◀◀ ボタンが同じ働きです。

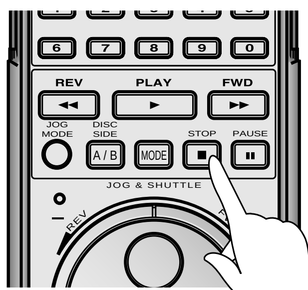
シャトルリングを左に回す

●回す量により、ふつうの速度から約30倍速まで変化します。手を離すと通常の再生に戻ります。



終了する

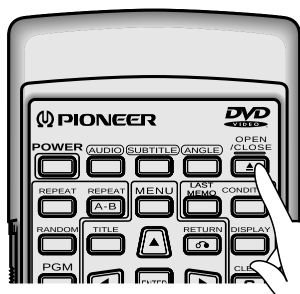
1



STOP■ボタンを押す

●再生が終わります。

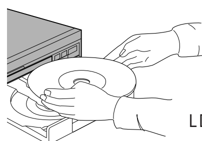
2



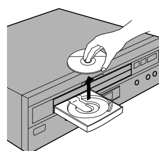
OPEN/CLOSE▲ボタンを押す

●本体ではLD▲ボタンまたはDVD/CD▲ボタンを押します。
●ディスクテーブルがでてきます。

3



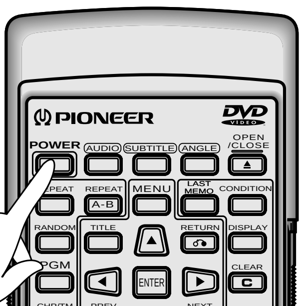
LDのとき



DVD/CDのとき

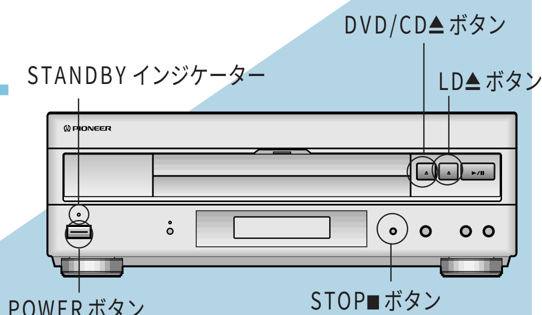
ディスクを取り出す

4



POWERボタンを押す

●ディスクテーブルが閉まり、電源が切れてSTANDBYインジケーターが点灯します。





途中まで見た後の続きを見ることもできます。（14ページ参照）

DVD LD Video CD

つづきから見る（つづき再生）

つづきから見る場所を記憶させるとき（ラストメモリー）



再生中にLAST MEMOボタンを押す

●本体のラストメモリーインジケーターが点灯します。
● POWER ボタンで電源を切るか STOP■ボタンで再生を停止します。



ポイント

● DVDではラストメモリーは場所だけでなく、映像・音声・表示・モードなどの各種設定も記憶します。
● ラストメモリーしたディスクでも、PLAY▶ボタンで再生すると、ディスクの始めから再生します。
● つづき再生したディスクはラストメモリーが自動的に消去されます。
● DVD ではラストメモリー登録ディスクの枚数が 5 枚を超えたときは古い記憶（一番最初にメモリーしたもの）から消去、上書きされます。
●LD、ビデオCDではディスクを取り出すと記憶した内容は消えます。
● DVD の場合、タイトルによっては機能しないことがあります。

つづきから見るとき（つづき再生）



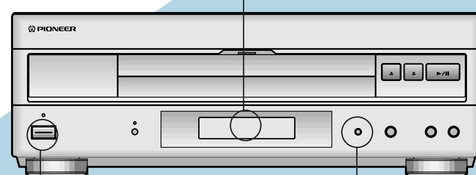
停止中にLAST MEMOボタンを押す

●電源オフのときに押すと、電源が入ってつづき再生します。

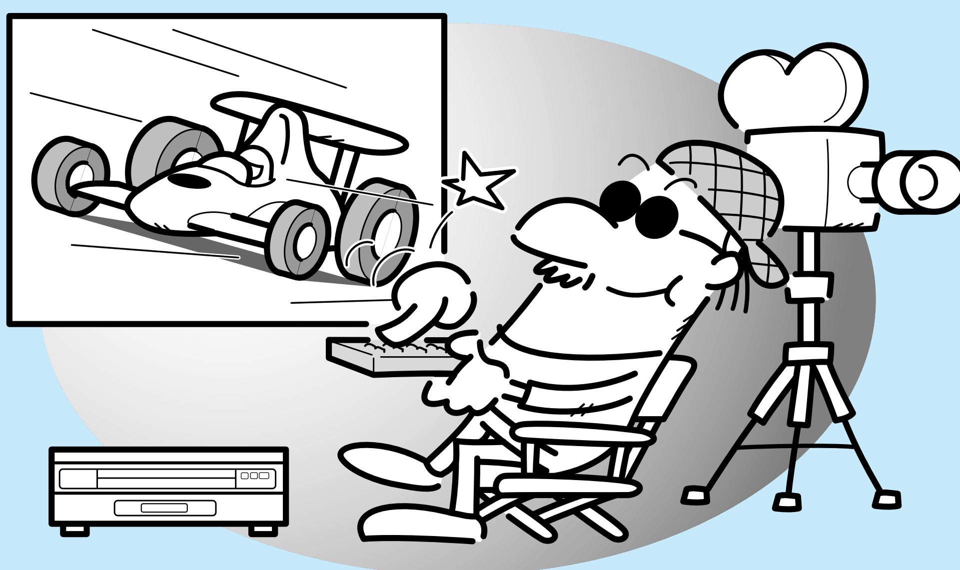


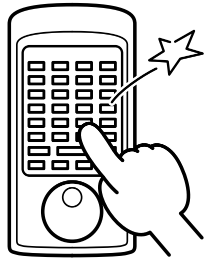
注意！

◆ CD では、つづき再生はできません。
◆ ビデオ CD の PBC 再生時には、つづき再生ができない場合があります。
◆ 本機作動中に、停電や電源コードが抜かれて電源を切ってしまったときは、記憶できません。電源コードを抜くときは、必ず本体のPOWERボタンまたはリモコンのPOWERボタンを押して、表示窓の「OFF」表示が消えてから行ってください。



応用操作







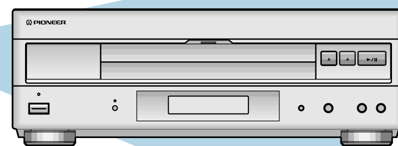
ポップス
ジャズ
カントリー
R & B
クラシック





選択画面（メニュー）を選んで再生する

DVD、ビデオ CD では、ディスクによってメニュー（選択画面）機能を持っているものがあります。
本機では、メニューから選んでお好みのタイトルや曲が選べます。



メニューから選んで再生するには

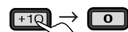
①  を押す

●メニュー画面が表示されます。メニュー画面は、ディスクに記録されたものです。ディスクごとに異なります。
●プレイバックコントロール付きビデオ CD では表示窓に PBC と表示されます。

1 ポップス
2 ジャズ
3 演歌
4 カラオケ
5 クラシック

② たとえば、②ジャズを選ぶときは数字ボタンの 2 を押す

●10 以上の番号を選ぶ場合は、+10 ボタンを使います。
・10 を選ぶとき



・17 を選ぶとき



・20 を選ぶとき



●選んだタイトルまたは曲を再生します。
●DVD では、▲・▼ で番号を選んで、その後 ENTER を押しても選べます。

再生中にメニュー画面に戻るには

DVD の場合

①  を押す

②  を押す

● MENU を押すとタイトル内のメニュー画面になります。
メニュー画面内の操作はメニュー内の指示に従ってください。

ビデオ CD の場合

 を押す

PBC 再生中に RETURN を押すとメニューが表示されます。

ポイント

●ビデオ CD ではメニューを出さずに再生することもできます。そのためには停止中に数字ボタンを押します。例えば、トラック 1 から再生するには、数字ボタンの 1 を押します。
●タイトルによってはメニューを使って選択することもできます。この場合は表示が出ているときに MENU を押してメニュー画面を出し、選択してください。

注意！

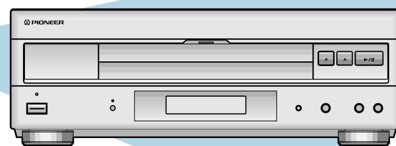
◆ビデオ CD の PBC 再生時で、メニューを表示して再生したときは、プログラム再生、ランダム再生、リピート再生トラック / タイムサーチの機能は働きません。
◆ビデオ CD で、PBC がオンの場合にはプレーヤーの動作はディスクによって異なります。詳しくはディスクの取扱説明書をご覧ください。
◆DVD ではメニューが表示されない場合があります。





LD/CDグラフィックスを再生する

ディスクの記録フォーマットには、映像や音声を記録する場所以外にサブコードという記録場所があります。ここに、映画の台詞や歌の歌詞などの信号を記録しておき、その信号を読み取って画面に映し出すのがグラフィックスです。



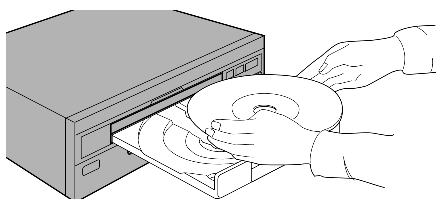
LDグラフィックスディスクには LD·G マークが付いています。
CDグラフィックスディスクには GRAPHICS マークが付いています。
グラフィックスはこれらのディスクを使用したときにお楽しみいただけます。

① POWER を押す

② OPEN/CLOSE を押す

●ディスクテーブルが出てきます。

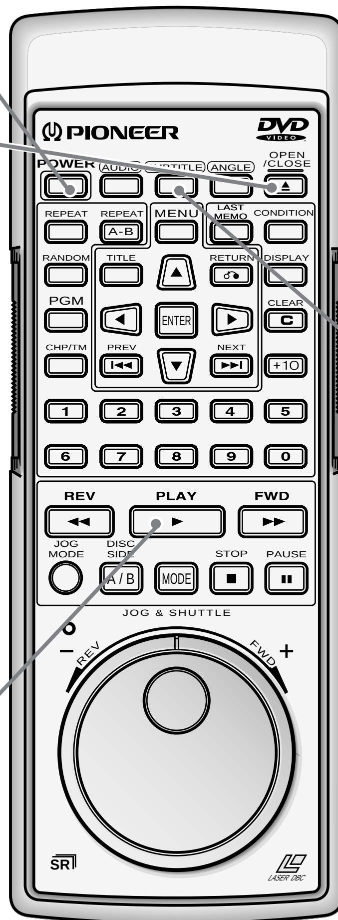
③ グラフィックス対応のLDまたはCDをセットする



●レーベル面を上にしてディスクテーブルのガイドに合わせて置きます。

④ PLAY を押す

●再生が始まります。
●グラフィックスがオフでもCDグラフィックスを再生すると、自動的にグラフィックス映像を表示します。



LDの場合は

⑤ SUBTITLE ボタンを押す

●LDではグラフィックスチャンネル0と1がオンになり、グラフィックスモード1の表示が出ます。もう一度押すとグラフィックスチャンネル2がオンに変わり、グラフィックスモード2の表示が出ます。
●チャンネルの設定を切り換えた場合は「グラフィックスオン」と表示します。

グラフィックスをオフにする

LD：グラフィックスモード2またはグラフィックスオンから SUBTITLE を押す。

CD：グラフィックスオンから SUBTITLE を押す。

注意！

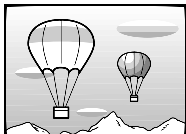
◆LDまたはCDグラフィックスディスクを使用していて、グラフィックスをオンにしてもグラフィックス映像が出ないときは、グラフィックスチャンネルの設定が合っていないまたはグラフィックスの表示位置が合っていないことが考えられます。（34、35ページ参照）
◆グラフィックスが記録されていないディスクを再生すると、まれに誤ったグラフィックス映像が出ることがありますが、故障ではありません。グラフィックスが記録されていないディスクを再生するときは、必ずグラフィックスをオフにしてください。

注意！

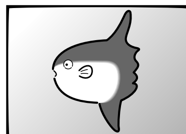
◆LD/CDグラフィックス対応ディスク再生時に、次の操作をするとグラフィックス映像の文字が欠ける、画面と文字、画面と画面、文字と文字が重なる、画面や文字の色が変わることがありますが故障ではありません。しばらくすると、正しいグラフィックス画像になります。
・早送り、早戻し
・一時停止
・サーチ
・グラフィックスコントロール画面でグラフィックスをオンにする
・セットアップメニューを表示する
・プログラムを入力する

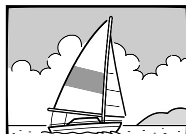
タイトル1





タイトル2







見たい場面／聞きたい場所を探す（サーチ）その１

タイトル番号で直接探す

① 再生中は TITLE を押す（停止中は TITLE を押さずに②へ）

●タイトル番号が画面に点滅表示されます。

タイトル 1

② 数字ボタンで直接タイトル番号を選ぶ

・タイトルの３を選ぶとき



タイトル 3

・タイトルの10を選ぶとき

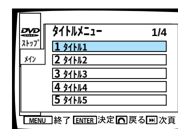


●タイトル番号点滅時に TITLE を押しつづけると、タイトル番号が１つずつ進みます。希望の番号を選んで PLAY を押しても選ぶことができます。

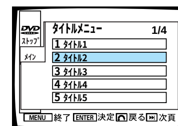
メニューで探す

① TITLE を押す（停止中なら③へ）

② 再生中は MENU を押す



③ ▲ ▼ でタイトル番号を選ぶ



④ ENTER を押す

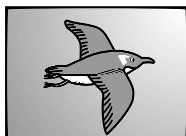
●指定したタイトルを再生します。

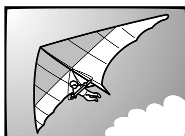
注意！

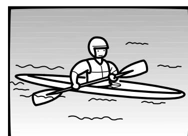
◆タイトルを連続して再生できません。
◆複数のタイトルを連続して再生するには、タイトルをプログラムして、プログラム再生してください。（20ページ参照）
◆DVDでは、ディスクによりサーチ機能を禁止しているものがあり、その場合は🚫マークが出ます。
◆メニューが表示されないディスクもあります。

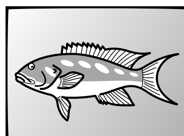
ポイント

●直接、数字ボタンでも選べます。選んだタイトルをすぐに再生します。
●タイトルによってはメニューを使って選択することもできます。この場合は表示が出ているときに MENU を押してメニュー画面を出し、選択してください。


チャプター1


チャプター2


チャプター3


チャプター4



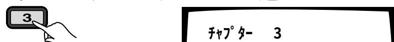
見たい場面／聞きたい場所を探す（サーチ）その2

DVD、ビデオCDはノーマルサーチ、ダイレクトサーチ、タイムサーチの3つのサーチができます。
CDは、ダイレクトサーチができます。
LDは、ノーマルサーチ、ダイレクトサーチ、タイム／フレームサーチの4つのサーチができます。

チャプター／トラック番号で探す

直接数字ボタンで選ぶ

例①チャプター／トラックの3を選ぶとき



例②チャプター／トラックの17を選ぶとき



●DVDでは、停止中の操作は、”見たい場面／聞きたい場所を探す（サーチ）その1”（P.18）になります。

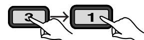
チャプター／トラック番号が大きいとき

① CHP/TM を押す

●チャプター／トラック番号が点滅します。
●DVDでは停止中はメニューが表示される場合があります。この場合は右の”メニューでチャプター番号を探す”を参照してください。

② チャプター／トラック番号を数字ボタンで指定する

例①　チャプター／トラックの31を選ぶとき



例②　チャプター187を選ぶとき



③ PLAY を押す

●指定したチャプター／トラックを再生します。

注意！

◆CDではタイムサーチできません。
◆DVDの場合、タイトルによってはサーチが機能しないことがあり、その時は画面に マークが出ます。
◆DVD、ビデオCDのタイムサーチは指定したタイムナンバーより少しずれた位置から再生が始まる場合があります。
◆DVDは停止中のタイムサーチはできません。
◆ビデオCDのPBC再生時には上記操作によるサーチはできません。

メニューでチャプター番号を探す

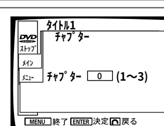
DVDのみ操作できます。

① CHP/TM を押す

●停止中はそのまま③へ進んでください。

② MENU を押す

●チャプターのメニューが表示されます。



③ 画面の表示に従って選ぶ

●タイトルによってメニューは表示されない場合があります。この場合は左記の方法で操作します。

時間／フレームナンバーで探す（タイムサーチ／フレームサーチ）

① CHP/TM を2回押す

ﾁｬﾌﾟﾀｰ 0 → ﾀｲﾑ 0.00

●チャプターのないDVD、LDの場合は、1回押すとタイム表示になります。

② 数字ボタンを押して、タイムナンバー／フレームナンバーを指定する

例①：21分43秒の時



例②：フレームナンバー423を選ぶとき



●DVDではタイトル間をまたがって、時間の選択はできません。

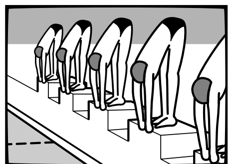
③ PLAY を押す

●指定したタイムまたはフレームナンバーの画面から再生します。

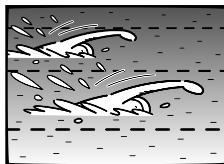
ポイント

●点滅中のタイトル、チャプター／トラック／タイム／フレームの表示を消すには、CLEARボタンを2回押してください。
●タイトルによってはメニューを使って選択することもできます。この場合は表示が出ているときにMENUを押してメニュー画面を出し、選択してください。

基本操作 / 応用操作 / いろいろな設定 / 準備 / その他







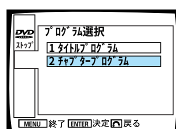


希望の順番に並び換えて再生する（プログラム再生）

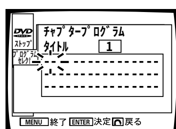
プログラムの設定（DVD）

① PGM を押す

② 数字ボタンを押してプログラムの種類を選択し、ENTER を押す



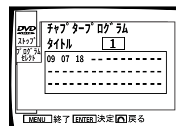
●タイトルを選んだときは、すぐに手順③へ進んでタイトル番号を設定してください。
●チャプターを選ぶと、タイトル番号が表示され、チャプター入力の画面となります。表示されたタイトル番号で良い場合は手順③へ進みます。タイトル番号を変更したいときは RETURN ボタンを押してから、数字ボタンまたは ◀ ▶ ボタンでタイトル番号を変更してください。



③ タイトルまたはチャプターを数字ボタンで設定する

9 → 7 → +10 → 8

9、7、18 の場合



④ ENTER を押す

●設定した順に再生します。

プログラムの確認、追加、削除のしかた

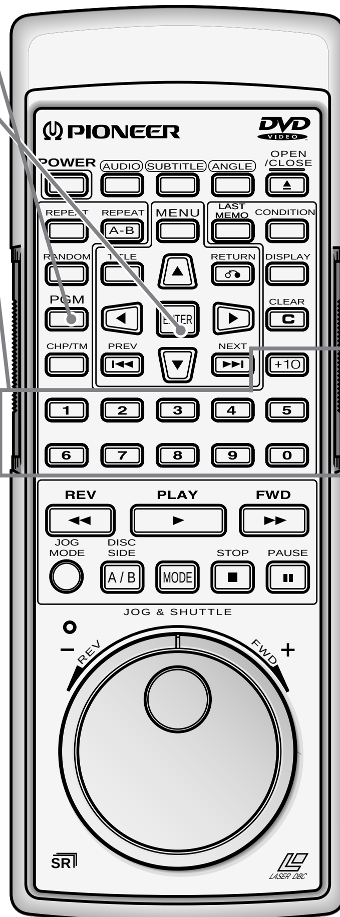
① PGM を押す

② DVDの場合はプログラムの種類を選択して ENTER を押す

●上記手順で確認ができます。

③ 追加する場合は数字ボタンで選ぶ

④ 削除する場合は ◀ ▶ で選び CLEAR を押す



プログラムの設定（ビデオ CD・CD・LD）

① PGM を押す

② 9曲目→7曲目→18曲目の順に設定する場合

9 → 7 → +10 → 8
数字ボタンを順番に押す。

●両面再生LDでは、ディスク面＋曲目が1組となります。例えば、B面のチャプター9では、DISC SIDE A/B → DISC SIDE A/B → 9 と押します。

③ ENTER を押す

●設定した順に再生します。

プログラムをすべて消すには

停止状態で CLEAR を押す。

●ディスクテーブルを開いてもプログラムはすべて消えます。

プログラム再生を止めるには

STOP ■ を押す

●プログラム再生を終了します。

注意！

◆ビデオCDのPBC再生時は、プログラムできません。
◆チャプターの移り変わりのときに、一度プログラムしていないチャプターの画面が見えることがありますが、故障ではありません。
◆DVD の場合、タイトルによってプログラムできないときがあります。この場合 マークが、画面に表示されます。
◆DVD の場合、タイトルをまたいだチャプタープログラムはできません。

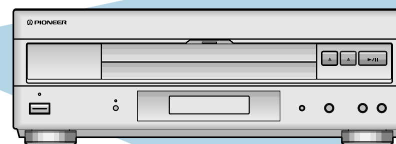
ポイント

●プログラムは最大 24 ステップです。
●数字ボタンを押し間違えたときは、CLEAR を押してから正しい数字ボタンを押してください。
●チャプター番号の記録されていないディスクではプログラム再生はできません。

一時停止（ポーズ）をプログラムする：
数字のかわりに PAUSE を押すと画面では ❚❚ と表示し、ポーズがプログラムできます。

DVD CD LD Video CD

繰り返し見る・聞く（リピート再生）



チャプター / トラックをリピート再生する

繰り返したいチャプターや曲の再生中に REPEAT を 1 回押す

1 つのタイトルをリピート再生する

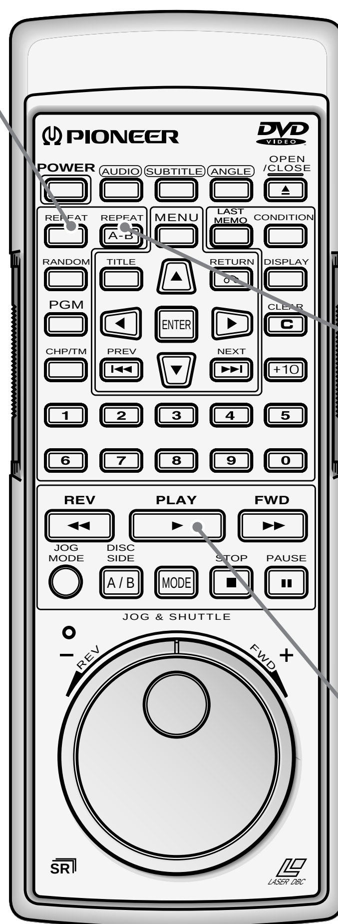
REPEAT を 2 回押す

●DVD では、タイトルの終わりまで再生するとタイトルの始めに戻り、繰り返し再生します。
●CD、ビデオ CD では、ディスク 1 枚が 1 つのタイトルなので、全てを繰り返し再生します。
●LD の場合は片面を繰り返し再生します。

LD の両面をリピート再生する

REPEAT を 3 回押す

●A 面から B 面、B 面から A 面へと繰り返し再生します。



指定した箇所をリピート再生する

繰り返したい箇所の始めと終わりで REPEAT A-B を押す

指定した場所に戻る

① 希望の場所で REPEAT A-B を押す

② 戻りたいときに PLAY ► ボタンを押す

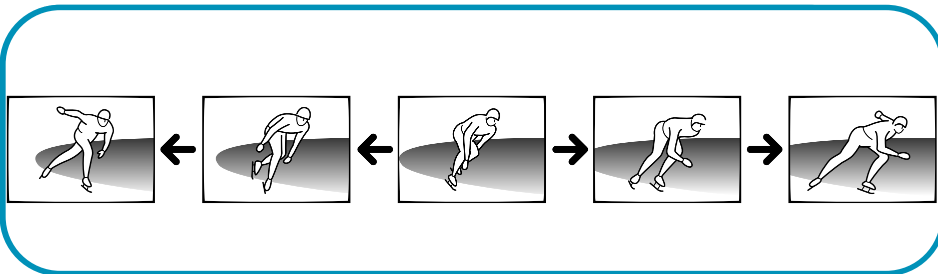
●指定した場所を取り消すには、CLEAR C を押します。

ポイント

●リピート再生を止めるには、CLEAR C を押します。リピートモードは解除されますが、再生はそのまま続きます。
●DVD ではタイトルをまたいだ繰り返し再生はできません。
●プログラム再生中に REPEAT を押すとプログラムが繰返し再生されます。

注意！

◆DVD の場合、タイトルによりリピート再生できないときがあります。この場合 マークが画面に出てきます。
◆ビデオ CD の PBC 再生時には、リピート再生できません。リピート再生するには、メニュー画面を出さずに再生（16 ページ参照）してから REPEAT を押してください。



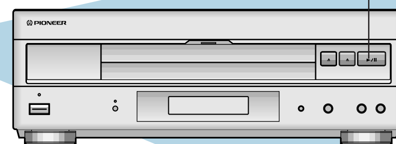






静止画／コマ送り スロー再生

PLAY/PAUSE ►/❚❚ ボタン

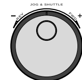


コマ送り再生－画像を 1 コマずつ見る

コマ送りからふつうの速度まで少しずつスピードが変わります。

① JOG MODE ◯ を押す

●リモコンのジョグモードインジケーターが点灯します。

②  をゆっくり回す

FWD→：回すごとに 1 コマずつ進みます。
REV→：回すごとに少し戻ります。
　　　ビデオ CD はできません。

●回転を止めると静止画再生になります。
●ジョグを回す速さによってスロー再生することができます。（ジョグを回している間のみ）。

静止画再生－画像を止めて見る

PAUSE ❚❚ ボタンを押す

●本体では PLAY/PAUSE►/❚❚ ボタンを押します。
●LD、DVD で静止画がブレるときは 32 ページを参照し、「フィールド」に設定してください。

スロー再生－スローにして見る

① PAUSE ❚❚ を押す

●本体では PLAY/PAUSE►/❚❚ ボタンを押します。

② シャトルリングを回す

FWD→：回す角度により、スロー再生スピードを 4 段階（1/16、1/8、1/4、1/2）で調整できます。
REV→： スロー再生のスピードを変えることはできません。
（画面には " スロー " と表示が出ます。）
ビデオ CD はできません。

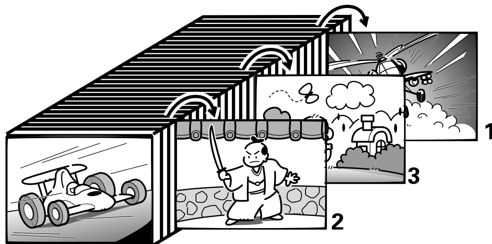
●スロー再生スピードは、シャトルリングを離しても保持されます。

ポイント

●普通の再生に戻すには、PLAY ► （本体の場合は P L A Y ／ PAUSE ►/❚❚ ボタン）を押します。

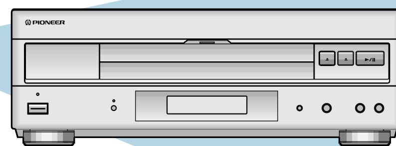
注意！

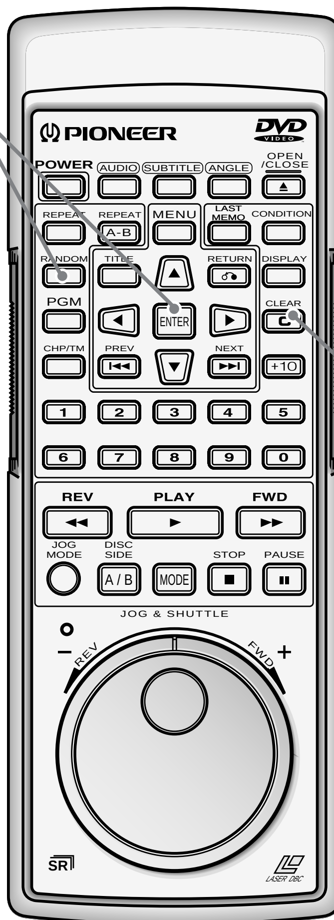
◆静止画、コマ送り、スロー再生中の音声は聞こえません。
◆ディスクによっては、一時停止できないディスクもあります。その場合は 🚫 マークが画面に出てきます。
◆ビデオ CD の場合、スロー再生がスムーズにいかないときがあります。
◆LD の場合、20 分間静止画再生をすると自動的に停止になります。





順不同で再生する（ランダム再生）





DVD では…

1 つのタイトル内のチャプターをランダム再生する

RANDOM を 1 回押して、ENTER を押す

●画面に「ランダムチャプター」と表示し、タイトル内のチャプターを順不同に再生します。

タイトルをランダム再生する

RANDOM を 2 回押して、ENTER を押す

●画面に「ランダムタイトル」と表示し、タイトルを順不同に再生します。

LD では…

RANDOM を押す

●画面に「ランダム」と表示し、チャプターを順不同に再生します。

LD で裏面（B 面）のランダム再生のしかた：

●DISC SIDE A/B を押して、サイド B を選びその後 RANDOM を押してください。

CD、ビデオ CD では…

RANDOM を押す

●画面に「ランダム」と表示し、順不同に再生します。

ランダム再生中に：

●NEXT を押すと、プレーヤーがトラックを選んで再生します。

●PREV を押すと、現在再生中のトラックを始めから再生し直します。

ランダム再生を止める

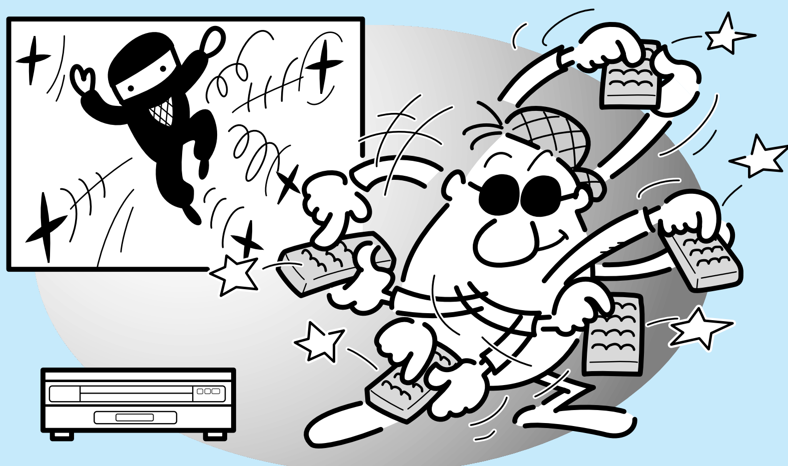
CLEAR C を押す。

●通常再生に戻り、現在再生されているチャプター/トラックのあとを順番に再生していきます。

注意！

◆チャプターの入っていないLDではランダム再生ができません。
◆ビデオ CD の PBC 再生時には、ランダム再生できません。ランダム再生をするには、メニューを出さずに再生してから RANDOM を押してください。（16 ページ参照）
◆プログラムした内容をランダムに再生することはできません。
◆DVD の場合、タイトルによってはランダム再生できないものがあります。
◆ランダム再生を繰り返すことはできません。

いろいろな設定



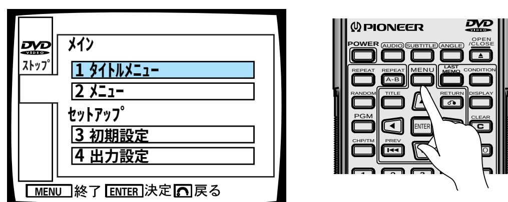


ワイドテレビ用ソフトの設定（マルチアスペクト）

DVDではワイドテレビに対応して、スクイーズ（圧縮映像）のものがあります。通常のテレビで、このようなDVDを再生すると画面がタテ長になることがあります。このようなとき、アスペクト機能を使うと通常の映像にすることができます。

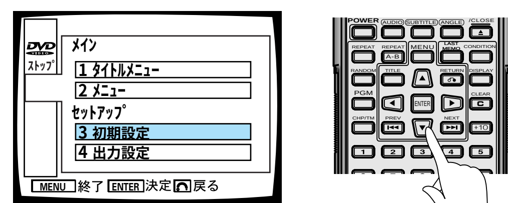
DVDディスクが入っている場合に設定できます。

1. 停止中に MENU を押す

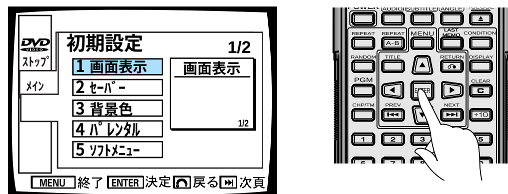


・メインメニュー画面が表示されます。

2. ▲▼ 初期設定を選択する

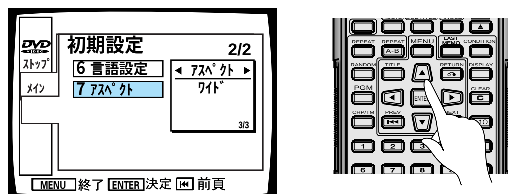


3. ENTER を押す

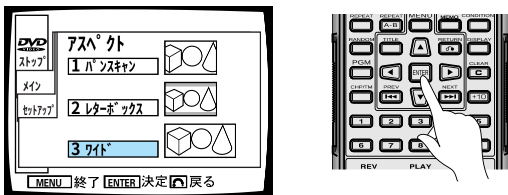


・初期設定の画面が表示されます。

4. ▲▼ でマルチアスペクトを選択する

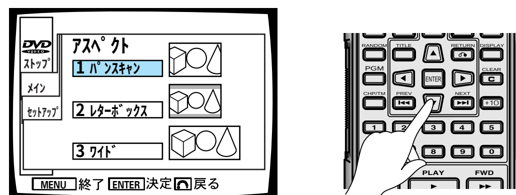


5. ENTER を押す

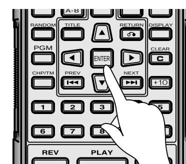


・アスペクト画面が表示されます。

6. ▲▼ でお好みのモード（パンスキャン、レターボックス、ワイド）を選択する



7. ENTER を押す



・ご希望の画面に切り換わります。

アスペクト切換のできるDVDの場合にはテレビに合わせて切換えてください。

ディスク	アスペクト切換	ワイドテレビ（16：9）	通常のテレビ（4：3）
16：9	ワイド		
	パンスキャン		
	レターボックス		
4：3			

上の表の ▢ を選ぶと縦横の比率の正しい映像になります。
アスペクトの切換ができるか、できないかはディスクによります。ディスクのジャケット等で確認してください。
アスペクトの切換ができないディスクの場合にはテレビ側で画面を調整してください。

注意！

◆電源が入っているときに、停電や電源コードが抜かれて電源を切ってしまったときは、設定内容が消えてしまいます。電源コードを抜くときは、必ず本体のPOWERボタンまたはリモコンのPOWERボタンを押して表示窓の「-OFF-」表示が消えてから行ってください。

ポイント

●通常のテレビは横4：縦3、ワイドテレビやハイビジョンテレビは横16：縦9の比率になっています。この横と縦の比率をアスペクト比と呼んでいます。



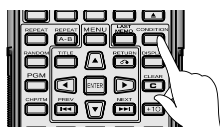
よく見る DVD の各種設定を記憶させる（コンディションメモリー）

よく見るDVDの設定内容を記憶させることができます。設定は、ディスクを出したり、電源を切っても記憶されています。記憶したディスクを入れると、表示部のコンディションインジケーターが点灯します。このとき、再生をすると前回の内容が自動的に呼び出されます。

記憶できる設定内容は下記の 5 つです。これらの設定をした後、コンディションメモリーすると、これらの設定内容を記憶しておけます。

マルチアスペクト（26 ページ）
シネマモード／アニメモード（31 ページ）
マルチ言語字幕（29 ページ）
マルチ音声（28 ページ）
表示位置（45 ページ）

再生中に CONDITION を押す



画面に「コンディション」と表示します。

記憶してあるディスクを入れると

画面に「コンディション」と表示し、前に設定した内容になります。

記憶してある内容を消すには

記憶してあるディスクを入れ、画面に「コンディション」の表示が出ているときに、CLEAR（C）ボタンを押します。
そのディスクの記憶内容が消去されます。

注意！

◆ 電源が入っているときに、停電や電源コードが抜かれて電源を切ってしまったときは、設定内容が消えてしまいます。電源コードを抜くときは、必ず本体の電源スイッチまたはリモコンのPOWER ボタンを押して表示窓の［-OFF-］表示が消えてから行ってください。

ポイント

- 一度設定した内容は、何度再生しても保持されます。
- 記憶できる枚数は最大で 30 枚分です。それを超えると、古い記憶から消されて、新しく記憶した内容になります。古い記憶でも、呼び出されると最新の記憶となります。
- 設定を変更したい場合は、アスペクト、シネマモード / アニメモード、字幕言語、音声のいずれかを設定しなおし、再生して CONDITION を押します。
- 本機で記憶するマルチ言語字幕、マルチ音声は言語の種類です。メニューの番号ではありません。同じ言語がいくつもある DVD では小さい番号の方を再生します。

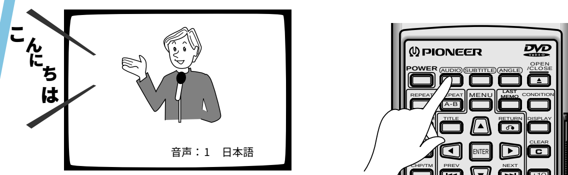
基本操作 応用操作 いろいろな設定 準備 その他



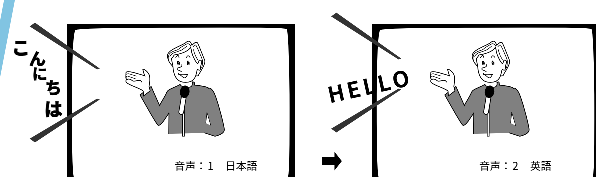
音声言語を選ぶ（マルチ音声）

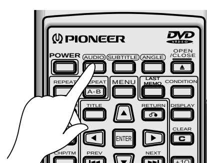
DVDには、ドルビーデジタルやPCMなどの音声がいろいろな言語で記録されています。お好みの音声言語を選んでお楽しみください。

1. 再生中に AUDIO を押す



2. AUDIO を押し、お好みの言語にする





注意！

◆ 音声言語が1言語しか記録されていないときには音声言語が切り換わりません。

◆ 音声番号と言語の設定はディスクによって違いますので、ディスクの説明書をご覧ください。

◆タイトルによっては音声言語が切り替えできない場合があります。この場合、マークが表示されます。

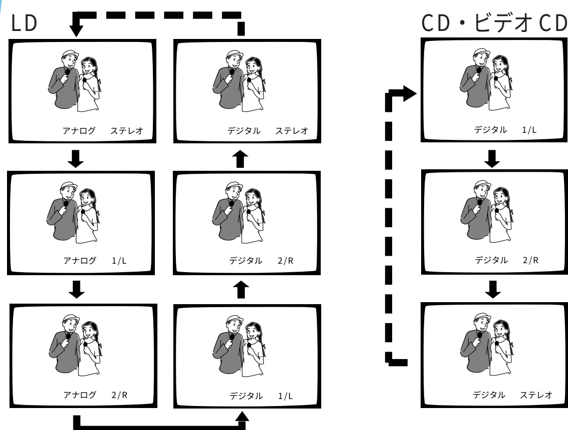
ポイント

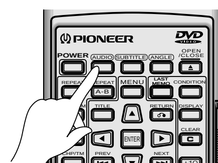
● タイトルによってはメニューを使って選択することもできます。この場合は表示が出ているときに MENU を押してメニュー画面を出し、選択してください。



音声を切り換える

1. 再生中に AUDIO を押す





・さらに押すごとに切り換わります。

注意！

◆ LDにデジタル音声が記録されていないときは、デジタル音声に切り換わりません。

◆ ビデオCD出力のデジタル音声出力（光、同軸）（DD RF出力）では切り換わりません。

◆ LDの場合、ディスクによってはCXシステムの切換えの行えるものがあります。その場合、この操作で切換えができます。

ポイント

● カラオケソフトなどで、歌と伴奏の音声にするには、ディスクのジャケットなどに書かれている音声の種類に合わせてください。

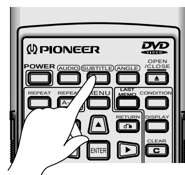


字幕言語を選ぶ（マルチ言語字幕）

複数の字幕言語が記録された DVD では、字幕言語を選ぶことができます。

1. 再生中に SUBTITLE を押す



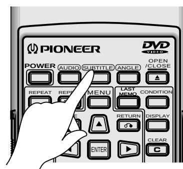


2. SUBTITLE を押し、お好みの言語にする









注意！

◆字幕言語が記録されていない、または1つしか記録されていないときは字幕言語が切り替わりません。

◆タイトルによっては字幕言語が切り替えできない場合があります。この場合、マークが表示されます。

ポイント

● 再生中に字幕言語を消したい場合には、SUBTITLE を押し、表示が出ているときに CLEAR を押してください。また、サブタイトルメニューを表示しているときは、「オフ」を選択すると消すことができます。

● 初期設定メニューの基本字幕の設定で「オフ」に設定しておくと字幕を消すことができます。

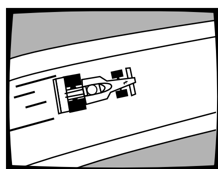
● タイトルによってはメニューを使って選択することもできます。この場合は表示が出ているときに MENU を押してメニュー画面を出し、選択してください。



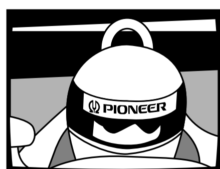
見たい方向からの映像を選ぶ（マルチアングル）

複数の方向（アングル）から映された映像が記録された DVD で選ぶことができます。

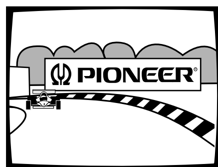
1. 再生中に ANGLE を押す



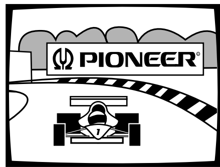


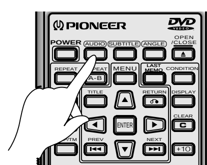












・さらに押すごとに切り換わります。

注意！

◆タイトルによってはアングルが切り替えられない場合があります。この場合、マークが表示されます。

ディスクにアングルが記録されていることを知るには

ディスクのジャケットに マークが付いています。また、本機では、アングルが記録されている箇所を再生すると、マークを表示します。

アングルマークを表示したくないときの設定のしかた

1. MENU を押す
2. 数字ボタンの 3 を押す
   ●初期設定メニューになります
3. 数字ボタンの 1 を押す
   ●画面表示メニューになります
4. 数字ボタンの 4 を押す
   ●アングルマークメニューになります
5. 数字ボタンの 2 を押す

ポイント

● マルチアングル機能は、複数のアングルが記録されたディスクでなければ選択できません。

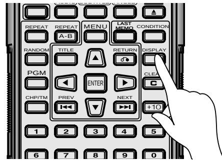
● マルチアングル部分を再生中は本体のアングルインジケーターが点灯します。

● タイトルによってはメニューを使って選択することもできます。この場合は表示が出ているときに MENU を押してメニュー画面を出し、選択してください。

ディスクの情報を見る

DVD CD LD Video CD

再生中に DISPLAY を押す

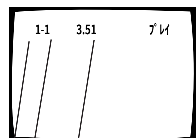


●押すたびに切り換わります。
●停止中に押すとディスクのトータル情報が表示されます。

注意！

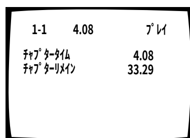
◆テレビ画面の焼き付き防止のため、約80分で自動的に表示は消えます。
◆LDでTOC（60ページ参照）の入っていないディスク、または、B面再生後には表示しません。また、クイックターンがオンになっているときにも表示しません。

＜DVD＞



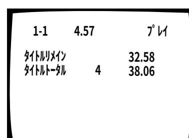
再生時間
チャプター番号
タイトル番号

→



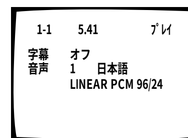
チャプタータイム：
再生中のチャプターの経過時間
チャプターリメイン：
再生中のチャプターの残り時間

→



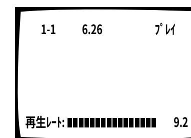
タイトルリメイン：
再生中のタイトルの残り時間
タイトルトータル：
再生中のタイトルの総再生時間

→



字幕：
表示する字幕の情報
音声：
再生する音声の情報

→

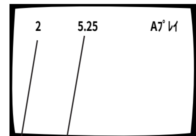


再生レート：
転送レートのレベルメーター

→ 消える

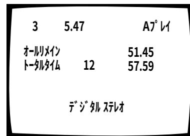
＜LD＞

CLV：長時間ディスク



再生時間
チャプター番号

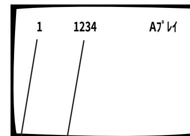
→



オールリメイン：
再生中のところからディスクの最後までの残り時間
トータルタイム：
ディスクの総再生時間

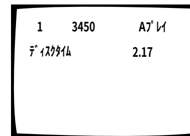
→ 消える

CAV：標準ディスク



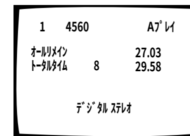
フレーム番号
チャプター番号

→



ディスクタイム：
ディスクの始めからの経過時間

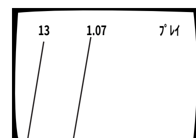
→



オールリメイン：
再生中のところからディスクの最後までの残り時間
トータルタイム：
ディスクの総再生時間

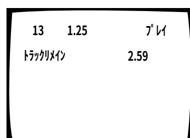
→ 消える

＜CD＞



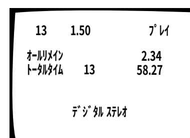
曲の再生時間
トラック番号

→



トラックリメイン：
再生中の曲の残り時間

→

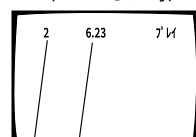


オールリメイン：
再生中のところからディスクの最後までの残り時間
トータルタイム：
ディスクの総再生時間

→ 消える

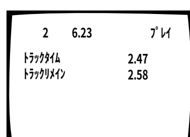
＜ビデオCD＞

（PBCオフ時）



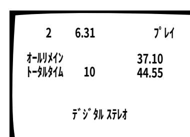
ディスクの始めからの再生時間
トラック番号

→



トラックタイム：
曲の経過時間
トラックリメイン：
再生中の曲の残り時間

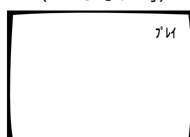
→



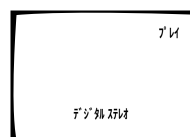
オールリメイン：
再生中のところからディスクの最後までの残り時間
トータルタイム：
ディスクの総再生時間

→ 消える

（PBCオン時）



→



→ 消える

画質・音質を切り換える・グラフィックスの設定を切り換える

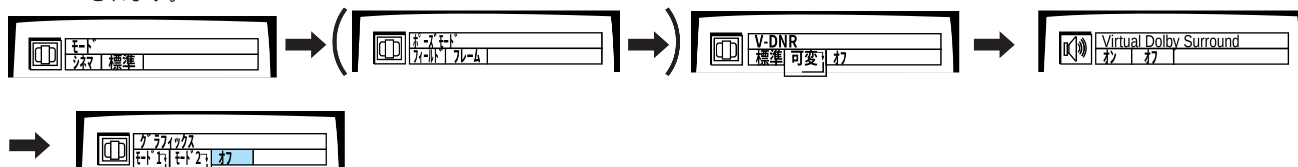
MODEを押すごとに次のように切り換わります。

（DVDのとき）

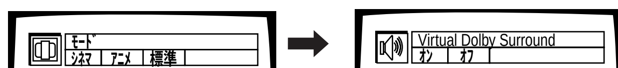


（LDのとき）再生中は白黒で表示されます。

標準（CAV）ディスク時のみ



（Video CDのとき）



（CDのとき）



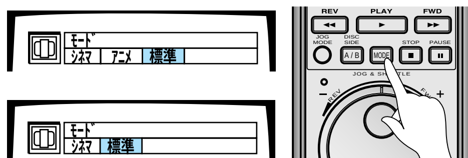
画質を切り換える（モード）

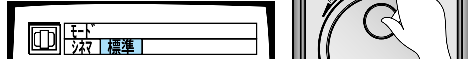
DVD LD Video CD

1. 再生中にMODEを押し、「モード」にする

（DVD、ビデオCD）

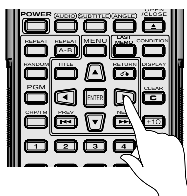
（LD）





2. ◀▶ボタンで好みのモードを選ぶ

DVD、ビデオCD：シネマ→アニメ→標準
LD：シネマ→標準



シネマ
画質：黒をくっきりとさせたメリハリのある映像にします。
アニメ
画質：色をハッキリさせた美しい映像がお楽しみいただけます。
標準：
画質、機能ともに通常に戻ります。

注意！
◆ ソフトの内容や組み合わせるテレビによっては見づらくなる場合があります。その場合は標準にしてください。

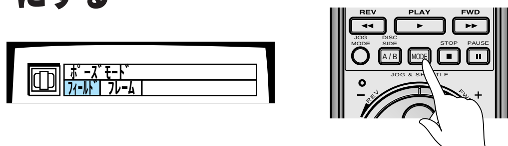
ポイント
● LDおよびCDVのビデオパートではアニメモードはできません。
● CDVのビデオパートでもLDと同じ設定ができます。

静止画の状態を切り換える（ポーズモード）



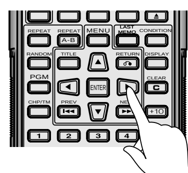


1. 再生中に MODE を押し､｢ポーズモード｣にする



2. ◀ ▶ ボタンでフィールドまたはフレームに合わせる

押すごとに切り換わります



静止画にしたとき、画面がブレるときはフィールドにします。

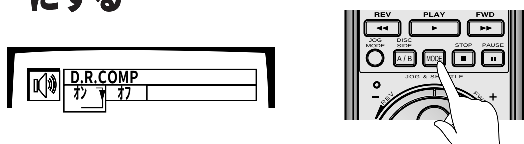
LD では、標準（CAV）ディスク再生時のみの機能です。長時間（CLV）ディスク再生時の静止画はフィールドになり、切り替えはできません。

音質を切り換える（D.R.COMP）

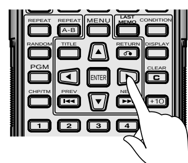
DVD

ダイナミックレンジコンプレッションのことです。
DVD では音声のダイナミックレンジが広くなっています。
お手持ちのステレオシステムやテレビで会話等の音声が聞きづらい場合に設定します。

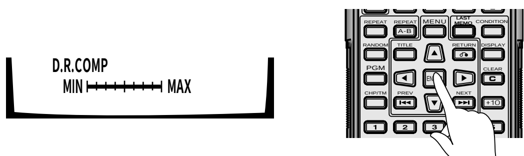
1. 再生中に MODE を押し､｢D.R.COMP｣にする



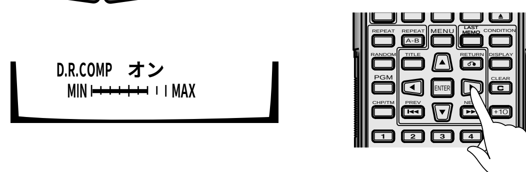
2. ◀ ▶ ボタンでオンまたはオフを選ぶ



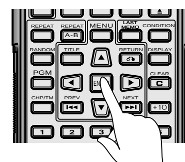
3. オンを選んだときは ENTER を押す



4. ◀ ▶ ボタンで変化量を調整する



5. ENTER を押す



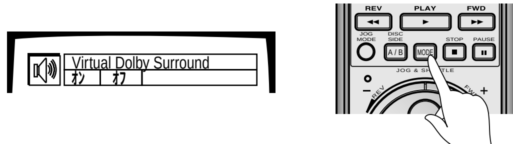
ポイント

- 手順 4 のときに ▲ ▼ を押すとオフ←→オンと切り換わります。

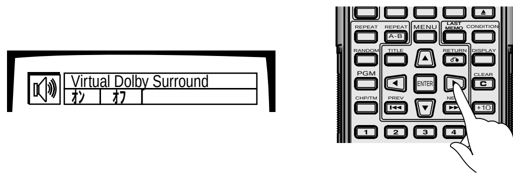
立体感のある音場に切り換える（Virtual Dolby Surround）

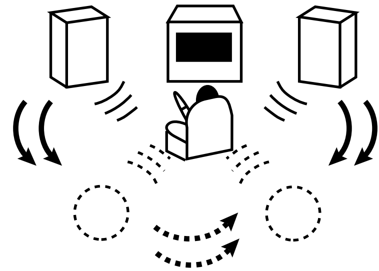


1. 再生中にMODEを押し、「Virtual Dolby Surround」に切り換える



2. ◀ ▶ボタンでオンを選ぶ





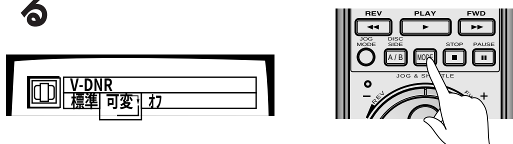
本機はSRS社のTruSrround方式を採用しています。TruSurroundはSRS Labs, Inc.の商標です。SRSとSRSのマークは、米国およびその他数カ国におけるSRS Labs, Inc.の登録商標です。TruSurroundの技術は、SRS Labs, Inc.によって使用許諾が登録されています。

輝度、彩度を調整する（V-DNR：バリアブルノイズリダクション）

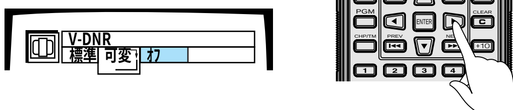
LD

LDやCDV（ビデオパート）の再生時に、ノイズや色ムラを低減する機能です。本機は輝度（明るさ：Y）、彩度（色：C）を別々に調整できます。

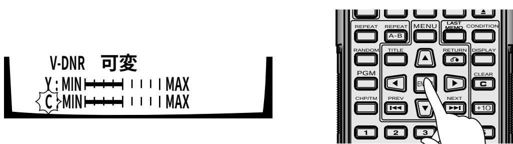
1. 再生中にMODEを押し、「V-DNR」にする



2. ◀ ▶ボタンで標準、可変、オフを選ぶ



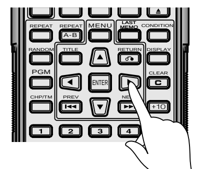
3. 可変を選んだときはENTERを押す



Y（輝度）、C（彩度）の調整画面になります。

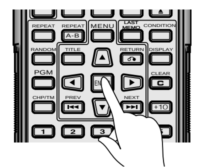
4. ▲ ▼ボタンでYまたはCを選び、◀ ▶ボタンで効果量を調整する





点滅している方が調整可能です。

5. ENTERを押す



ポイント

● V-DNRを初期状態に戻したいときは「標準」を選んでください。

基本操作
応用操作
いろいろな設定
準備
その他

グラフィックスの設定を切り換える（グラフィックス）

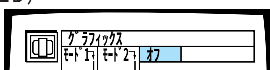


ディスク記録フォーマットには､サブコードという記録場所があります。ここに映画の台詞や歌の歌詞などの信号を記録しておき､その信号を読み取って画面に映し出すのがグラフィックスです。
グラフィックスは、チャンネル設定（0〜15）で画面に映し出す情報を選び、スクロール設定（ノーマル〜ステップ17）で表示する位置を選べます。

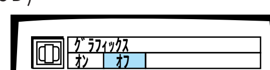
グラフィックス表示の位置を変える

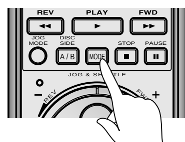
1. 再生中にMODEを押し､「グラフィックス」にする

(LD)



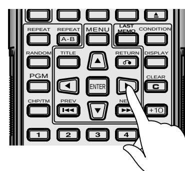
(CD)

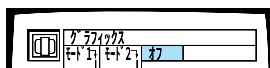




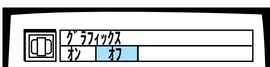
2. ◀ ▶ボタンでモード１またはモード２を選択する（CDのときはオンを選択する）

(LD)
モード１はグラフィックスチャンネルの０と１がオンになります。
モード２はグラフィックスチャンネルの２がオンになります。



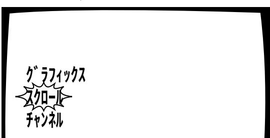


(CD)

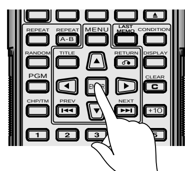


3. ENTERを押す

(LD、CD)

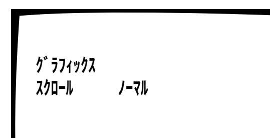


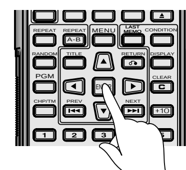
スクロールが点滅します



4. ENTERを押す

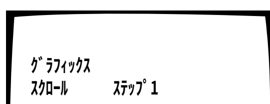
(LD、CD)



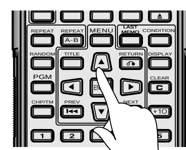


5. ▲ ▼ボタンで表示位置を選択する

(LD、CD)

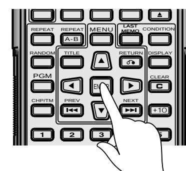


・ノーマルからステップ17までの18段階の位置が選べます。
・ノーマルの位置に戻すには CLEAR を押します。



6. ENTERを押す

選んだ位置にグラフィックスが表示されます。



注意！

● この操作をしてもグラフィックスが出ないときはチャンネルを変えてみてください（35ページ参照）。

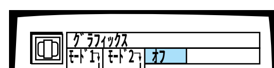
ポイント

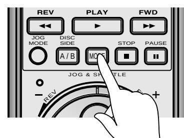
● 1つ前の画面に戻るには、リモコンの RETURN を押します。

グラフィックスのチャンネルを変える

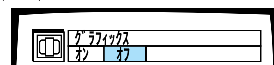
1. 再生中に MODE を押し、「グラフィックス」にする

（LD）



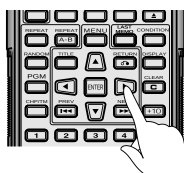


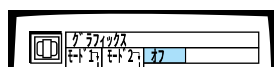
（CD）



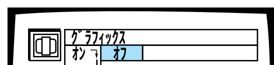
2. ◀ ▶ ボタンでモード１またはモード２を選択する（CDのときはオンを選択する）

（LD）
モード１はグラフィックスチャンネルの０と１がオンになります。
モード２はグラフィックスチャンネルの２がオンになります。





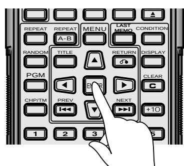
（CD）



3. ENTER を押す

（LD、CD）

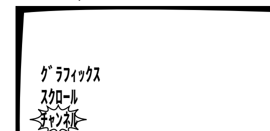


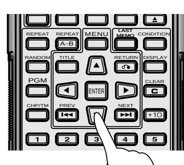


スクロールが点滅します

4. ▼ ボタンを押す

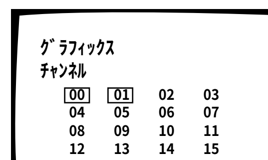
（LD、CD）

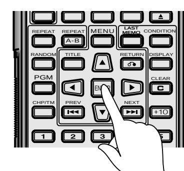




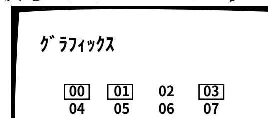
チャンネルが点滅します

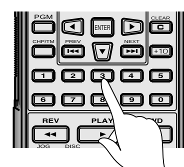
5. ENTER を押す





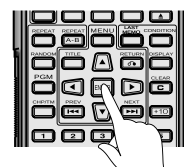
6. 数字ボタンでチャンネル番号を選ぶ





- 選んだチャンネル番号が反転表示になります。
- もう一度同じ番号を押すとオフになります。
- 10〜15 は +10 を押してから 0 〜 5 を押します。

7. ENTER を押す



選んだチャンネルのグラフィックスが画面に表示されます。

注意！

● この操作をしてもグラフィックスが出ないときは表示位置を変えてみてください。（34 ページ参照）

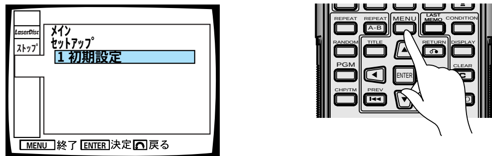
ポイント

● 電源を切ると、変更したグラフィックスのスクロール及びチャンネルは初期状態に戻ります。これは異なるディスクを再生したとき、グラフィックスが出ない等が起こらないようにしているためです。
● １つ前の画面に戻るには、リモコンの RETURN を押します。

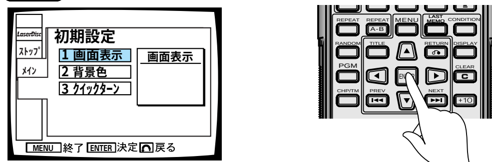
LDの反転時間を速くする（クイックターン）

LD 再生で A 面から B 面、あるいは B 面から A 面への時間を短くする機能です。

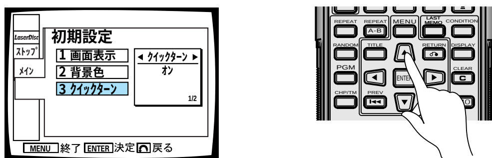
1. 停止中にMENUを押す



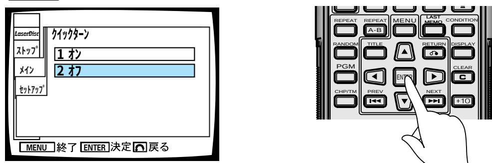
2. ENTERを押す



3. ▲▼ボタンで「クイックターン」を選択する

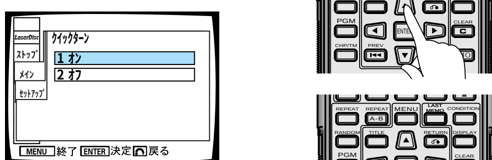


4. ENTERを押す



クイックターン選択画面になります。

5. ▲▼ボタンでオンを選択し、ENTERを押す



クイックターンのオンが設定されます。

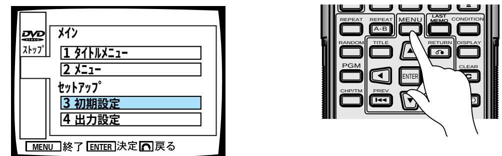
注意！
クイックターンがオンのときは画面表示のリメイン表示、トータル表示は行えません。

背景色を好みの色にする

DVD CD LD Video CD

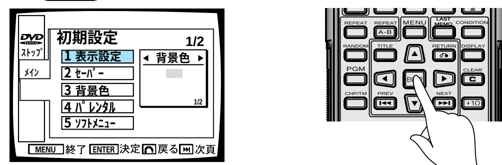
メニュー画面や停止時の画面の色を変えられます。

1. 停止中にMENUを押す

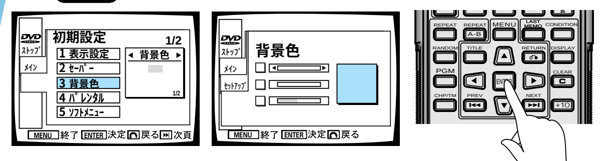


（DVD の時）

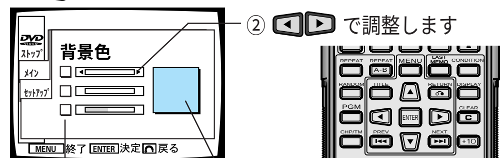
2. ▲▼ボタンで「初期設定」を選んでENTERを押す



3. ▲▼ボタンで「背景色」を選んでENTERを押す



4. ▲▼ボタンで変えたい色を選び、◀▶ボタンでその色を調整する

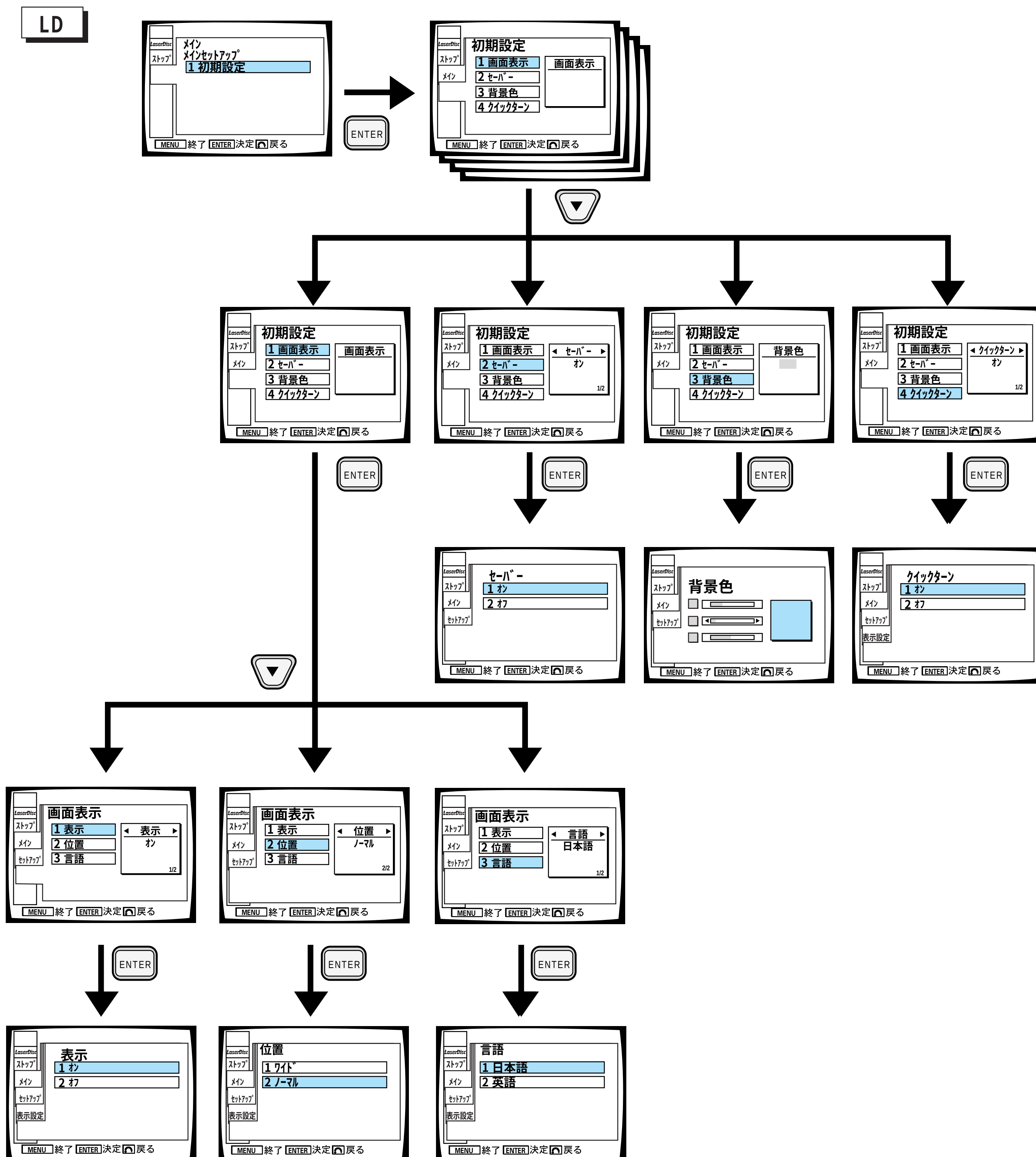


5. ENTERボタンを押す

GUI操作の概要（グラフィカルユーザーインターフェース）

本機ではいろいろな設定を画面を見ながらリモコンでおこないます。
ここではメニュー画面への入り方を説明します。ディスクの種類や再生・停止などの状態によってメニュー画面への入り方が異なりますので、以下のメニューマップを参考にしてください。

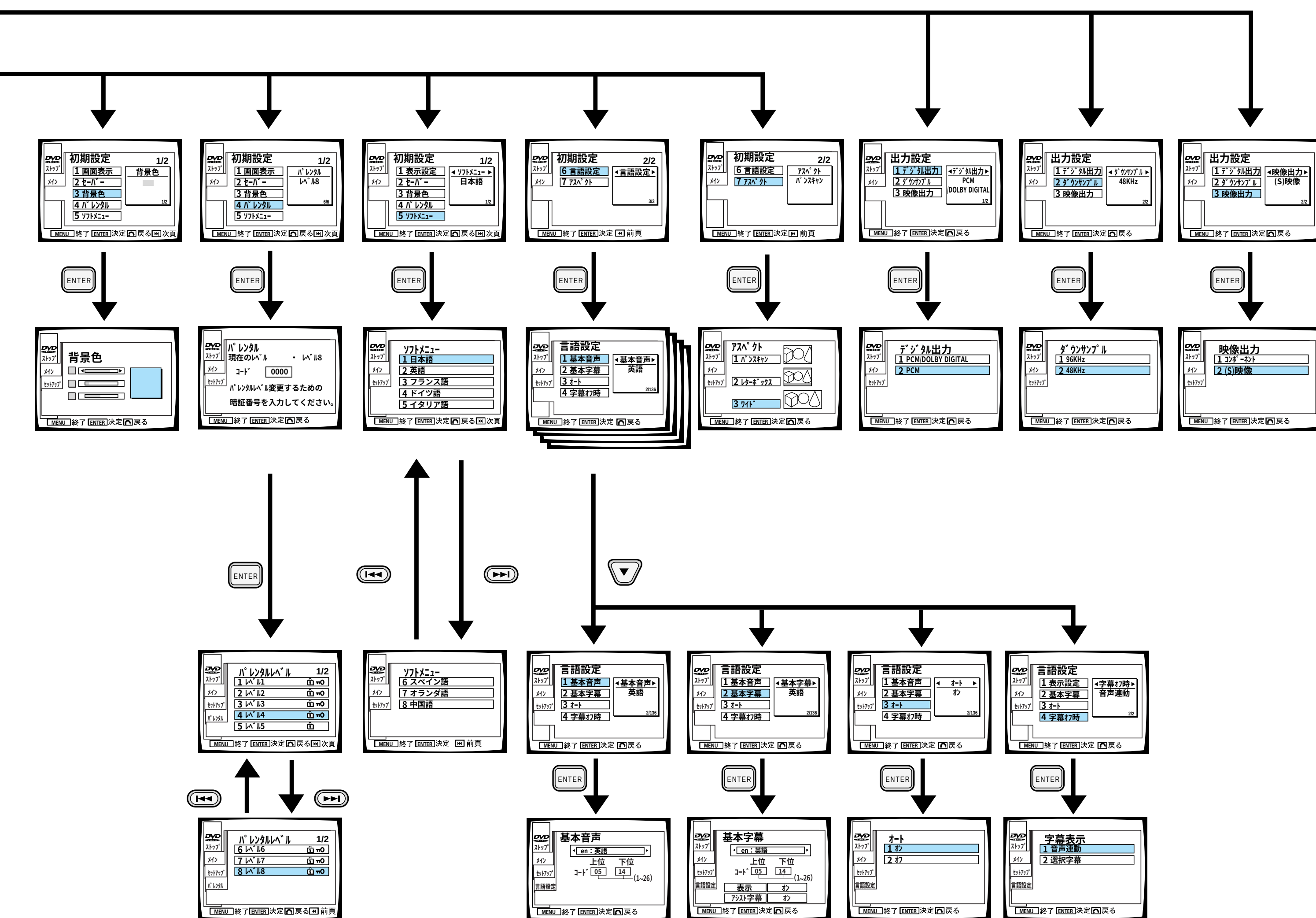
LD



GUI操作の概要（グラフィカルユーザーインターフェース）

DVD

RETURN を押すと、ENTER を押した前の画面に戻ります。



GUI 操作の概要（グラフィカルユーザーインターフェース）

CD、ビデオ CD

メイン
セットアップ
1 初期設定
2 出力設定
MENU 終了 ENTER 決定 戻る



メイン
1 初期設定
2 出力設定

ENTER

出力設定
1 映像出力
映像出力
(S)映像
2/2

ENTER

映像出力
1 コンポーネント
2 (S)映像

メイン
1 初期設定
2 出力

初期設定
1 画面表示
2 セーバー
3 背景色
画面表示

初期設定 1/2
1 画面表示
2 セーバー
3 背景色
セーバー
オン
1/2
MENU 終了 ENTER 決定 戻る 次頁

初期設定
1 画面表示
2 セーバー
3 背景色
背景色

ENTER

画面表示
1 表示
2 位置
3 言語
表示
オン
1/2

ENTER

セーバー
1 オン
2 オフ

ENTER

背景色

画面表示
1 表示
2 位置
3 言語
表示
オン
2/2

画面表示
1 表示
2 位置
3 言語
位置
ノーマル
2/2

画面表示
1 表示
2 位置
3 言語
言語
日本語
1/2

ENTER

表示
1 オン
2 オフ

ENTER

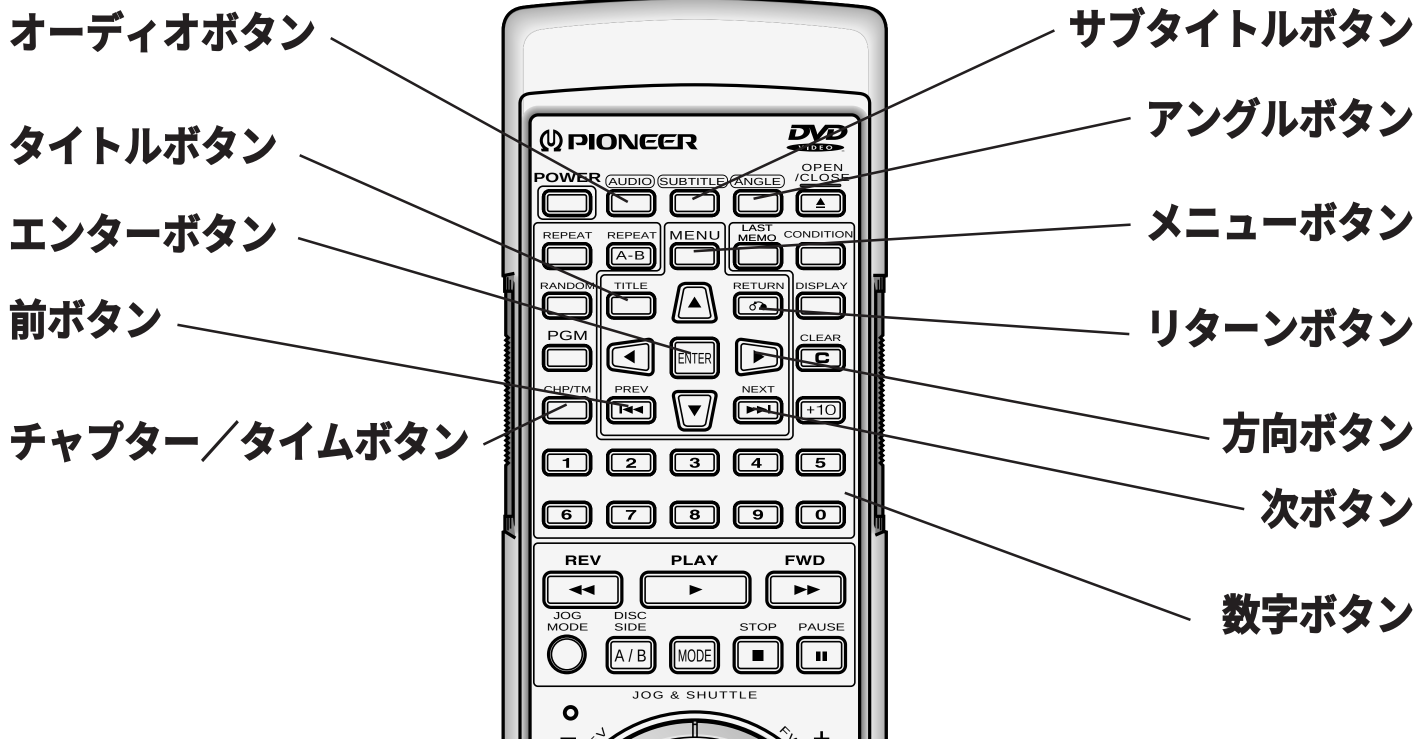
位置
1 ワイド
2 ノーマル

ENTER

言語
1 日本語
2 英語

各メニュー内でのボタンのはたらき

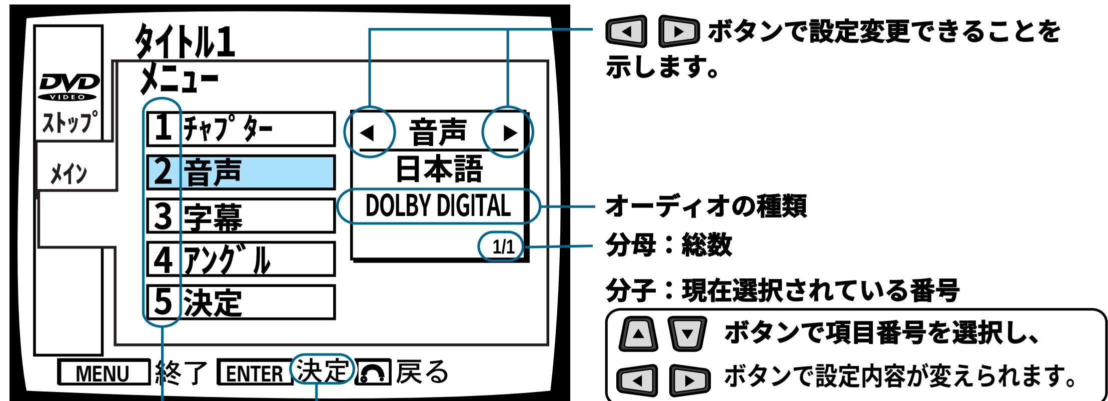
ボタンの名称	ボタンのかたち	はたらき
メニューボタン	MENU	メニュー画面からぬける（設定した内容は無効になります）
リターンボタン	RETURN	1つ前のメニュー画面へ戻る（設定した内容は決定になります。ただし、サーチは無効になります。）
数字ボタン	1 ～ 0 ・ +10	選択し決定する（セットアップメニュー内では項目によっては選択のみとして働く場合があります。）
方向ボタン	▲ ▼ ◀ ▶	選択
エンターボタン	ENTER	決定し実行する（タイトル、チャプターの変更後は再生状態になります）
前ボタン	PREV	前のページへ
次ボタン	NEXT	次のページへ
直接メニューを出すボタン	TITLE CHP/TM AUDIO SUBTITLE ANGLE	各メニューへ（移動前に設定した内容は無効になります）



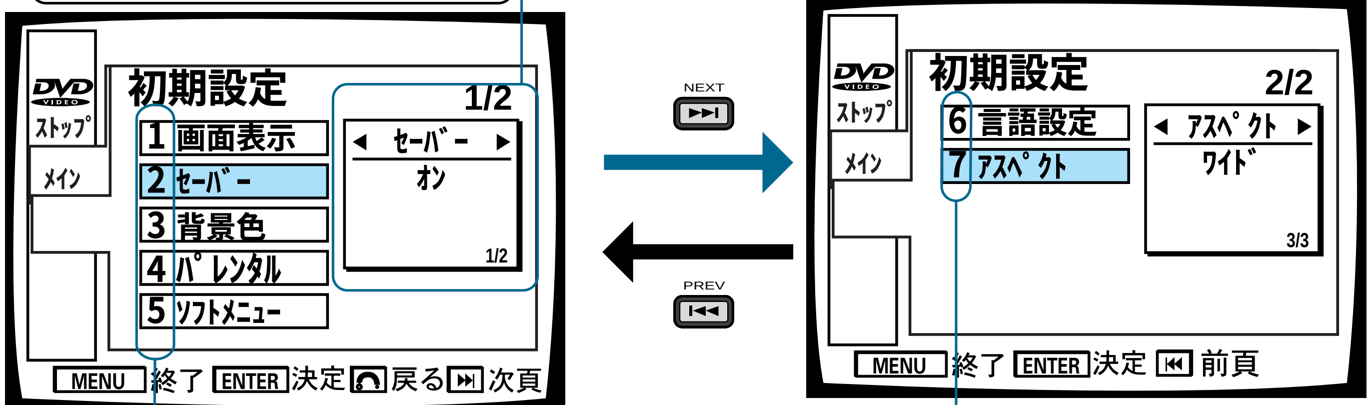
基本操作
応用操作
いろいろな設定
準備
その他

画面表示と操作の例

例1：メニュー内での表示内容・ボタンのはたらき（例：DVD時）

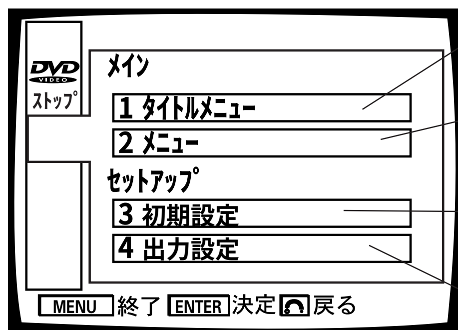


例2：セットアップメニュー内での表示内容・ボタンのはたらき（例：DVD時）



メインメニューについて（例：DVD時）

タイトルメニュー画面、メニュー画面、セットアップ画面を選ぶときの主（メイン）画面です。



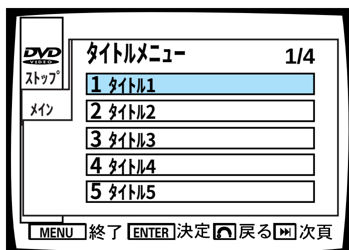
タイトルメニュー画面では：
タイトルを選んで再生することができます。（タイトルサーチ）

メニュー画面では：
タイトル中のチャプター（曲）、字幕、音声、アングルを選ぶことができます。

初期設定画面では：
本機の各種機能を画面表示で設定することができます。

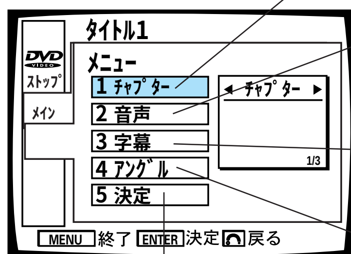
出力設定画面では：
本機のデジタル出力端子から出力する音声や映像出力を選ぶことができます。

タイトルメニュー画面について



タイトルを選んで再生できます。
18ページの「タイトル番号で直接探す」と同じ選択画面です。

メニュー画面の内容



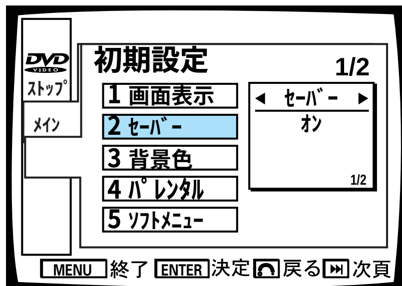
チャプター画面では：
1つのタイトル中のチャプター（曲）を選んで再生することができます。

音声画面では：
複数の音声言語や音声の種類の入ったディスクでは、音声の内容を選ぶことができます。

字幕画面では：
字幕情報の入ったディスクでは、字幕の内容を選ぶことができます。

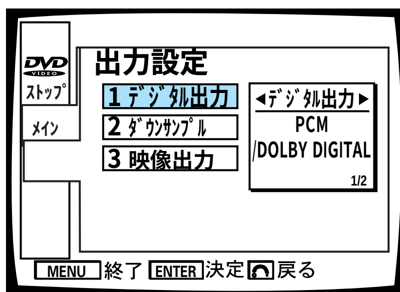
アングル画面では：
さまざまな方向から映された映像が記録されたディスクでは、その中からお好みのものを選ぶことができます。

初期設定画面について



さまざまな設定を変更するときに使用します。
次ページに、各項目と設定内容が書かれています。

出力設定画面について



本機のデジタル出力端子から出力する音声や映像出力を選ぶときに使用します。
使用するアンプやモニターに合わせて変更してください。

詳しくは、次ページに各項目と設定内容が書かれています。

設定項目一覧表

階層		項目	内容	設定状態 初期設定（工場出荷時）	
初期設定	画面表示	**表示**	動作表示（プレイ、ストップなど）をする（オン）しない（オフ）を切り換えます。	**オン** 動作表示する	**オフ** 動作表示しない
初期設定	画面表示	**位置**	ワイドテレビで通常のソフトを見るときは、動作表示が画面の外にはみ出して、表示が見えなくなることがあります。表示位置を変更することでワイドテレビでも動作表示を見ることができるようになります。	**ノーマル** 通常のテレビ（4：3）を使用するとき	**ワイド** ワイドテレビを使用する場合（メニュー画面は対応していません。）
初期設定	画面表示	**言語**	動作表示と各メニュー画面を日本語表示か英語表示かに切り換える設定です。	**日本語** 例）プレイ	**英語** 例）PLAY
初期設定	画面表示	**アングルマーク**	アングルが記録された画面を再生するとを表示します。 アングルの画面を再生しているかどうかがはっきりします。	**オン** 表示	**オフ** 表示しない
初期設定		**セーバー**	同じ静止画を長時間表示し続けると画面に焼きつき現象がでることがあります。本機ではメニュー画面などを長時間（5分以上）表示し続けることによる画面の焼きつき現象を防止するため、スクリーンセーバー機能を搭載しています。「オン」にしておくことをおすすめします。	**オン** スクリーンセーバーが機能する	**オフ** スクリーンセーバーが機能しない
初期設定		**背景色**	メニュー画面や停止状態の画面の色を、お好みの色に設定できます。 R（赤）、G（緑）、B（青）を個別に設定できます。それぞれ21段階の設定ができます。	ブルー	可変
初期設定		**パレンタルレベル**	視聴制限のことをいいます。映像内容によって視聴制限をかける機能です。 本機はディスクに視聴制限コードが記録してあれば視聴制限（パレンタルロック）をかけることができます。パレンタルロック対応のディスクを再生したとき暴力シーン等で子供に見せたくない部分を飛ばして見ることができます。詳しくはディスクの説明書をお読みください。 一度暗証番号を設定すると、次回からは、その暗証番号を設定しないとレベルの変更はできません。 暗証番号は忘れないように控えておいてください。もし、忘れてしまったときは、初期状態に戻して再び設定できます。（46ページ参照）	レベル8	1～8まで可変
初期設定		**ソフトメニュー**	ディスクに入っているメニューの言語が何カ国語にも対応しているものでは、その中から選べます。	日本語	ディスクにより可変
初期設定		**クイックターン**	LD再生時のA面からB面、B面からA面への切り換わりの時間を短くします。リメイン、トータルの時間表示はできなくなります。	**オン**	**オフ**
初期設定	言語設定	**基本音声**	基本字幕と同じようにディスクに入っている多くの言語の音声のうち、通常はどの言語の音声にするか選んでおくことができます。再生中に音声言語を変えた場合でも、ディスクを交換したときは、この設定で選んだ言語になります。	**日本語**	**136種類の言語から1つ選べます。（設定方法は次ページに書かれています。）**
初期設定	言語設定	**基本字幕**	ディスクに入っている字幕のうち、通常表示する字幕の言語を選んでおくことができます。再生中に字幕言語を変えた場合でも、ディスクを交換したときは、この設定で選んだ言語になります。	**日本語**	**136種類の言語から1つ選べます。（設定方法は次ページに書かれています。）**
初期設定	言語設定	**オート**	オン 基本音声と基本字幕を同じ言語（日本語）に合わせてください。 基本音声と基本字幕が異なる場合、基本字幕で表示をオフ、アシスト字幕をオンにすると オフ と同じになります。 例えば一般的なディスクの外国映画では、オリジナル音声、日本語字幕が自動的に選択されます。 日本映画ではオリジナル音声（日本語）が選択され、字幕は出ません。 ディスクによっては例のように動作しないことがあります。 ・再生途中で、「音声言語を選ぶ」（28ページ）、「字幕言語を選ぶ」（29ページ）で、変更することもできます。 オフ 基本字幕、基本音声の設定どうりになります。	**オン**	**オフ**
初期設定	言語設定	**字幕オフ時**	字幕を非表示（オフ）にした時のディスクが強制的に表示する字幕を設定できます。 音声連動：選んだ音声の言語になります。 選択字幕：選んだ字幕の言語になります。	選択字幕	音声連動
初期設定		**マルチアスペクト**	ワイドモードで記録されたソフトを見るときに、お使いのテレビに合わせて映像の縦横比を切り換えられます。	ワイド	パンスキャン / レターボックス

GUI 操作の概要（グラフィカルユーザーインターフェース）

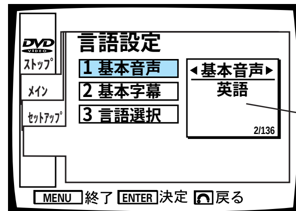
階層	項目	内容	設定状態	
			初期設定（工場出荷時）	
出力設定	**デジタル出力**	本機の光デジタル出力端子とデジタル出力［同軸］の PCM/□□ から出力する音声を変更できます。DVD では、ドルビーデジタル音声（映画館などで使用されている立体的な音声）とリニア PCM（CD でおなじみのデジタル音声）2 通りの規格があります。	**PCM/DOLBY DIGITAL** 音声信号に対応し、ドルビーデジタルかリニアPCMかを自動選択します。 ドルビーデジタル（AC-3）デコーダーを搭載したアンプを使用するとき	**PCM** ドルビーデジタルでもリニアPCMに対してでもリニアPCM規格で出力します。通常のアンプやドルビープロロジックアンプを使用するとき
	ダウンサンプル	96kHz：オーディオがサンプリング周波数 96kHz の PCM のときに、96kHz の高音質で再生することができます。サンプリング周波数 48kHz のときには、そのまま 48kHz での再生になります。 48kHz：サンプリング周波数が 96kHz のディスクでも、48kHz に圧縮して再生します。48kHz は、そのまま 48kHz になります。 * ディスクに記録されているオーディオのサンプリング周波数をお好みに合わせて選択できます。 選択に合わせてアナログ出力／デジタル出力とも同時に切り換わります。 * DVD フォーマット上、コピープロテクトのかかった 96kHz のディスクが存在します。 この場合、デジタル出力からは信号が出ません。	96kHz	48kHz
	映像出力	映像出力をコンポーネント出力とするか通常の映像信号出力とするかを選びます。 コンポーネント出力を選ぶと、映像出力端子の映像はモノクロ画面となります。 また、LD、CDV、GRAPHICS マーク付の CD の映像はコンポーネントに切り換えることはできません。この場合、自動的に（S）映像出力となります。	（S）映像出力	コンポーネント出力

設定を変更したものを購入時の設定に戻す（初期化）には…
電源が入っている場合は、一度電源を切ります。電源が切ってある状態で本体の ■ ボタンを押しながら POWER STANDBY/ON ボタンを押します。

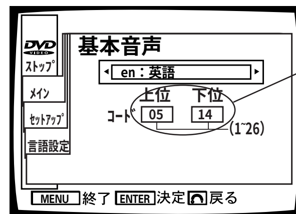


基本音声、基本字幕の設定のしかた

基本音声



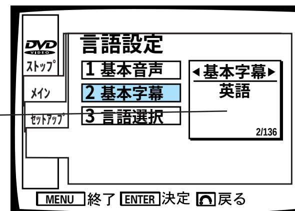




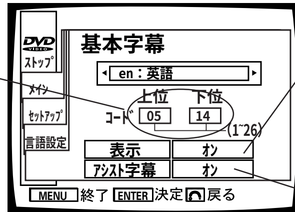
リモコンの◀または▶で順番に変わります。

下記の言語コード表の入力コード（上位）、（下位）をご覧になり、設定する言語に該当する数字をリモコンの数字ボタンで設定します。

基本字幕







リモコンの▲または▼を押すと点滅します。このとき◀または▶で表示（オン）、表示しない（オフ）を選ぶことができます。

ディスクによっては、耳の不自由な方などのために場面の状況を解説した字幕が記録されているものがあります。「アシスト字幕」をオンにすると、最初この字幕を優先して表示します。

言語コード表

言語	言語コード	入力コード（上位）	入力コード（下位）
Japanese	ja	10	01
English	en	05	14
French	fr	06	18
German	de	04	05
Italian	it	09	20
Spanish	es	05	19
Dutch	nl	14	12
Russian	ru	18	21
Chinese	zh	26	08
Korean	ko	11	15
Greek	el	05	12
Afar	aa	01	01
Abkhazian	ab	01	02
Afrikaans	af	01	06
Amharic	am	01	13
Arabic	ar	01	18
Assamese	as	01	19
Aymara	ay	01	25
Azerbaijani	az	01	26
Bashkir	ba	02	01
Belorussian	be	02	05

言語	言語コード	入力コード（上位）	入力コード（下位）
Bulgarian	bg	02	07
Bihari	bh	02	08
Bislama	bi	02	09
Bengali, Bangla	bn	02	14
Tibetan	bo	02	15
Breton	br	02	18
Catalan	ca	03	01
Corsican	co	03	15
Czech	cs	03	19
Welsh	cy	03	25
Danish	da	04	01
Bhutani	dz	04	26
Esperanto	eo	05	15
Estonian	et	05	20
Basque	eu	05	21
Persian	fa	06	01
Finnish	fi	06	09
Fiji	fj	06	10
Faroese	fo	06	15
Frisian	fy	06	25
Irish	ga	07	01

GUI操作の概要（グラフィカルユーザーインターフェース）

言語	言語ｺｰﾄﾞ	入力ｺｰﾄﾞ（上位）	入力ｺｰﾄﾞ（下位）
Scottish Gaelic	gd	07	04
Galician	gl	07	12
Guarani	gn	07	14
Gujarati	gu	07	21
Hausa	ha	08	01
Hindi	hi	08	09
Croatian	hr	08	18
Hungarian	hu	08	21
Armenian	hy	08	25
Interlingua	ia	09	01
Interlingue	ie	09	05
Inupiak	ik	09	11
Indonesian	in	09	14
Icelandic	is	09	19
Hebrew	iw	09	23
Yiddish	ji	10	09
Javanese	jw	10	23
Georgian	ka	11	01
Kazakh	kk	11	11
Greenlandic	kl	11	12
Cambodian	km	11	13
Kannada	kn	11	14
Kashmiri	ks	11	19
Kurdish	ku	11	21
Kirghiz	ky	11	25
Latin	la	12	01
Lingala	ln	12	14
Laotian	lo	12	15
Lithuanian	lt	12	20
Latvian, Lettish	lv	12	22
Malagasy	mg	13	07
Maori	mi	13	09
Macedonian	mk	13	11
Malayalam	ml	13	12
Mongolian	mn	13	14
Moldavian	mo	13	15
Marathi	mr	13	18
Malay	ms	13	19
Maltese	mt	13	20
Burmese	my	13	25
Nauru	na	14	01
Nepali	ne	14	05
Norwegian	no	14	15
Occitan	oc	15	03
(Afan) Oromo	om	15	13
Oriya	or	15	18
Panjabi	pa	16	01

言語	言語ｺｰﾄﾞ	入力ｺｰﾄﾞ（上位）	入力ｺｰﾄﾞ（下位）
Polish	pl	16	12
Pashto, Pushto	ps	16	19
Portuguese	pt	16	20
Quechua	qu	17	21
Rhaeto-Romance	rm	18	13
Kirundi	rn	18	14
Rumanian	ro	18	15
Kinyarwanda	rw	18	23
Sanskrit	sa	19	01
Sindhi	sd	19	04
Sango	sg	19	07
Serbo-Croatian	sh	19	08
Singhalese	si	19	09
Slovak	sk	19	11
Slovenian	sl	19	12
Samoan	sm	19	13
Shona	sn	19	14
Somali	so	19	15
Albanian	sq	19	17
Serbian	sr	19	18
Siswati	ss	19	19
Sesotho	st	19	20
Sundanese	su	19	21
Swedish	sv	19	22
Swahili	sw	19	23
Tamil	ta	20	01
Telugu	te	20	05
Tajik	tg	20	07
Thai	th	20	08
Tigrinya	ti	20	09
Turkmen	tk	20	11
Tagalog	tl	20	12
Setswana	tn	20	14
Tongan	to	20	15
Turkish	tr	20	18
Tsonga	ts	20	19
Tartar	tt	20	20
Twi	tw	20	23
Ukrainian	uk	21	11
Urdu	ur	21	18
Uzbek	uz	21	26
Vietnamese	vi	22	09
Volapük	vo	22	15
Wolof	wo	23	15
Xhosa	xh	24	08
Yoruba	yo	25	15
Zulu	zu	26	21

準備

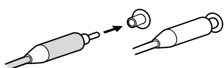
その他

接続のしかた

本機の接続に関する注意

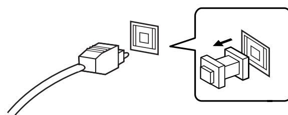
本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。本機をVTRを通してテレビに接続したりVTRで録画や再生をすると、正常な再生画像が得られない場合があります。テレビに直接つなぐかAVアンプを通して接続してください。

■入出力プラグ（ピンケーブル）

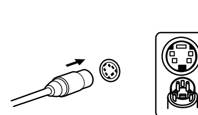


端子の色（白、赤、黄）とプラグの色を合わせます。

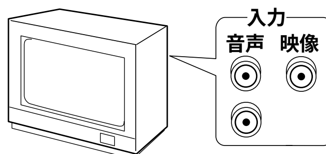
■光ケーブル



■ S ビデオケーブル

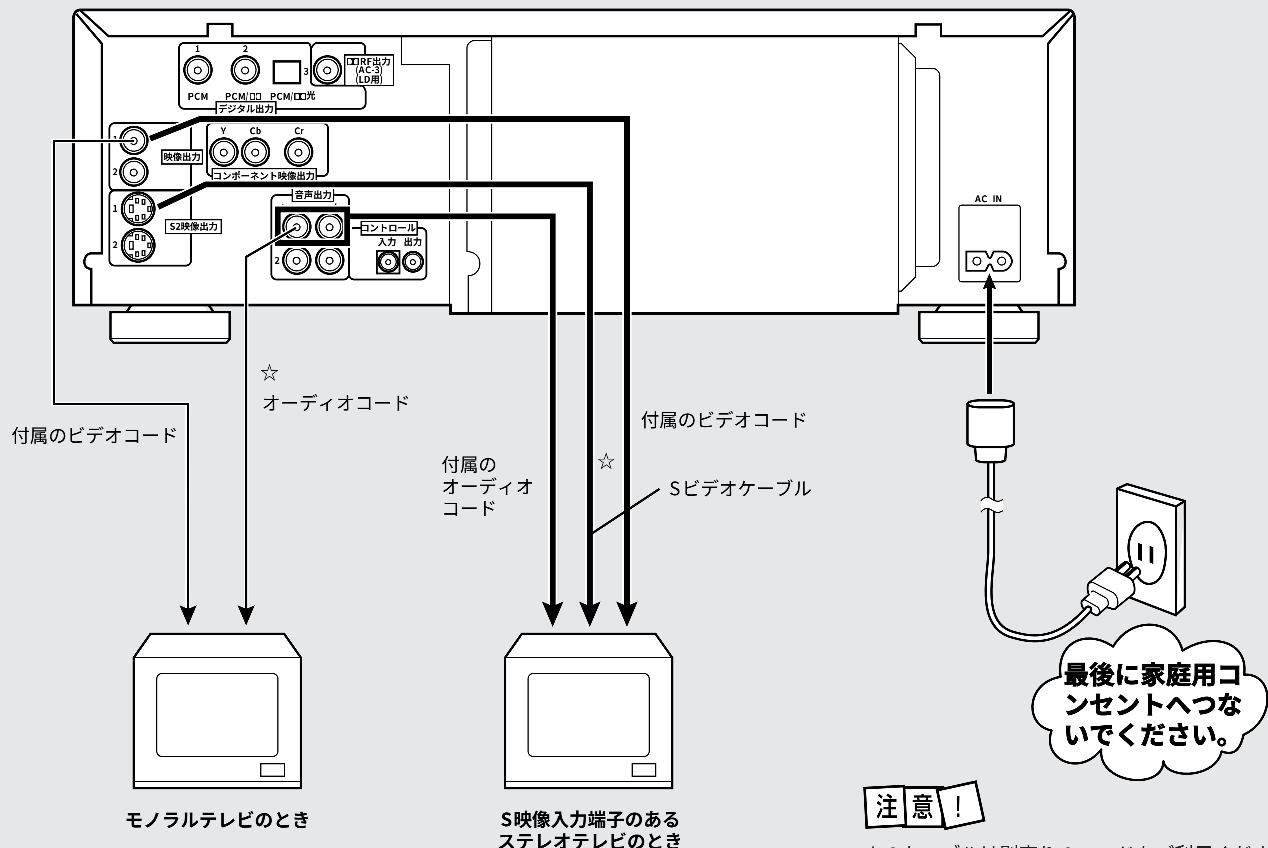


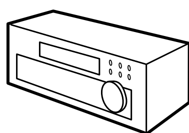
接続例 1
映像入力のあるテレビ



テレビに映像入力があり、この端子が空いていれば、この接続方法がもっとも簡単です。

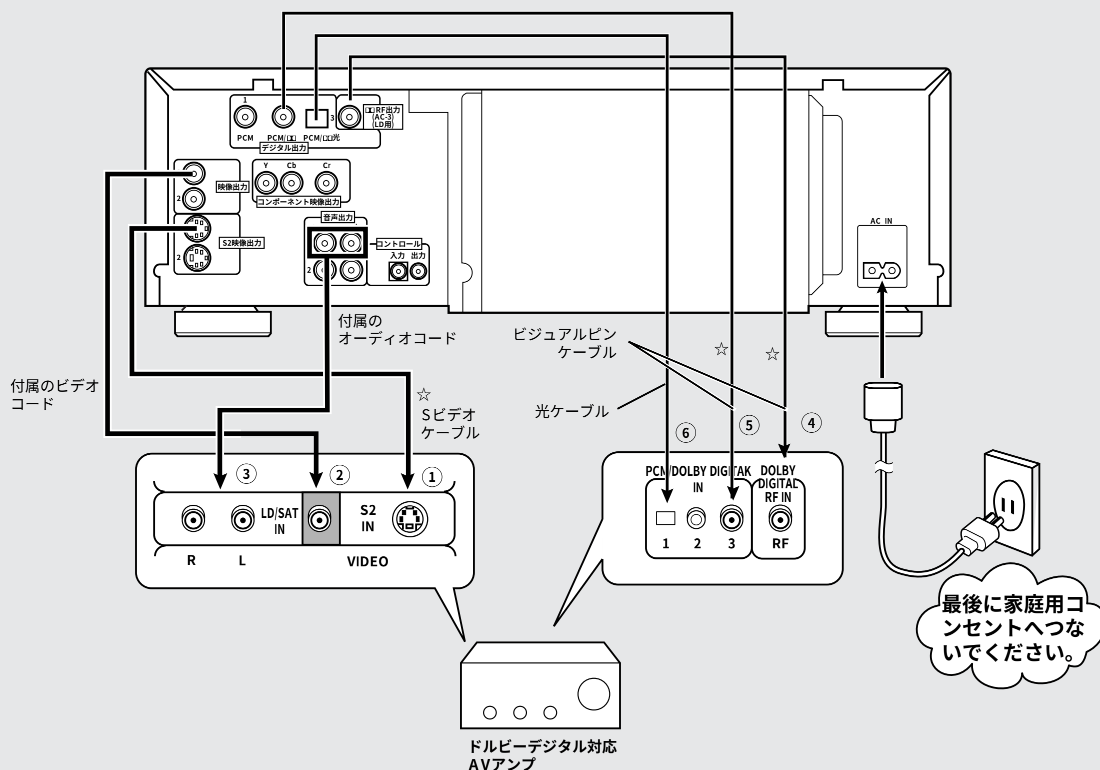
テレビ（モニターテレビ）の取扱説明書も合わせてご覧ください。

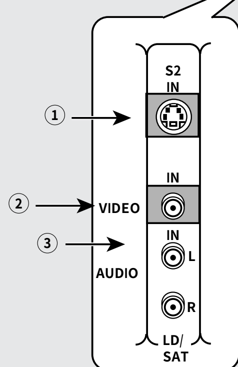


接続例 2 **ドルビーデジタル（AC-3）用のデジタル入力と RF 入力が同じファンクションに入力できる AV アンプ**		ドルビーデジタル（AC-3）入力のあるアンプに接続する場合です。

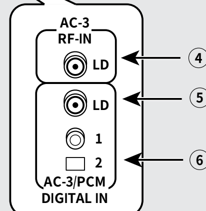
※当社の AV デジタルサラウンドアンプ VSA-D9TX、VSA-D7 と組合せる時はこの接続を行ってください。

●本機のデジタル出力 PCM/DD 端子をドルビーデジタル対応アンプのドルビーデジタル（AC-3）入力端子へ接続します。同軸デジタル出力を使用するか光出力を使用するかはアンプの入力端子によって選択してください。
●本機の DDRF 出力（LD 用）端子をドルビーデジタル対応アンプのドルビーデジタル（AC-3）RF 入力端子へ接続します。
●LD のアナログオーディオはデジタル出力されませんので、本機の音声出力端子とアンプの音声入力端子も接続してください。
46 ページの「デジタル出力」を設定する操作で、必ず PCM/DOLBY DIGITAL に設定してください。
⑤と⑥の PCM/DD デジタル出力は、どちらか一方のみを接続すればドルビーデジタルが楽しめます。





VSA-D7の場合は、端子の配置が異なりますので①〜⑥を下の絵の端子につないでください。

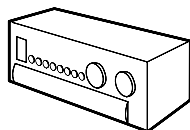


本機のディスク再生を行うときはアンプのファンクション切換で、本機を接続した入力端子を選んでください。当社のAVサラウンドアンプ VSA-D9TX、VSA-D9TX、VSA-D7 ではLD/SATにしてください。

注意！
☆のケーブルは市販のケーブルをご用意ください。

デジタル出力の設定が96kHzになっていると、ディスクによってはデジタル出力を禁止しているものがあります。（46ページ参照）

接続例 3
ドルビーデジタル（AC-3）用のデジタル入力と RF 入力が異なるファンクション入力となる AV アンプ



ドルビーデジタル（AC-3）入力のあるアンプに接続する場合です。

※当社の AV デジタルサラウンドアンプ VSX-09 と組合せる時はこの接続を行ってください。

- 本機のデジタル出力 PCM/□□ 端子をドルビーデジタル対応アンプのドルビーデジタル（AC-3）入力端子へ接続します。同軸デジタル出力を使用するか光出力を使用するかはアンプの入力端子によって選択してください。
- 本機の □□RF 出力（LD 用）端子をドルビーデジタル対応アンプの AC-3 RF 入力端子へ接続します。
- LD のアナログオーディオはデジタル出力されませんので、本機の音声出力端子とアンプの音声入力端子も接続してください。

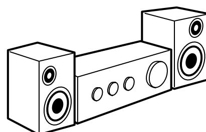
46 ページの「デジタル出力」を設定する操作で、必ず PCM/DOLBY DIGITAL に設定してください。

PCM　PCM/□□　PCM/□□光　デジタル出力　□□RF出力 (AC-3) (LD用)
Y　Cb　Cr　映像出力　コンポーネント映像出力
S2映像出力　音声出力　コントロール　入力　出力　AC IN
☆ オーディオコード
付属のオーディオコード
☆ Sビデオケーブル
付属のビデオコード
☆ ビデオコード
☆ ☆ ビジュアルピンケーブル
LD IN　S IN　DVD IN　R　L　VIDEO
AC-3/PCM DIGITAL IN　AC-3 RF-IN　DVD　LD
AVアンプ、AVレシーバーなど
最後に家庭用コンセントへつないでください。

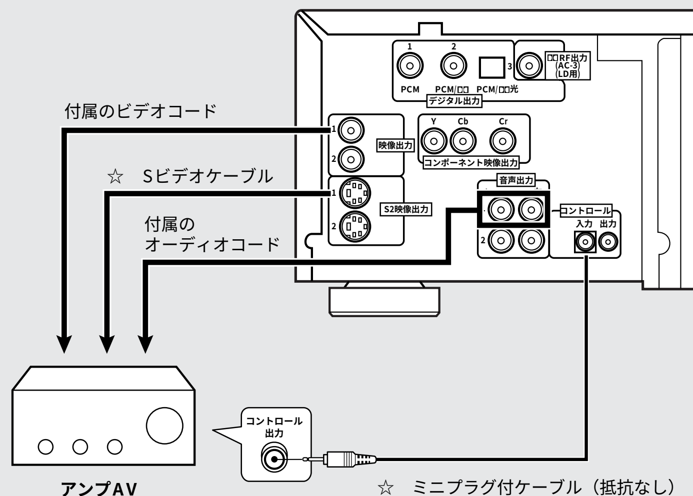
注意！
☆のケーブルは市販のケーブルをご用意ください。

デジタル出力の設定が96kHzになっていると、ディスクによってはデジタル出力を禁止しているものがあります。（46ページ参照）

本機のディスク再生を行うときはアンプのファンクションを次のように選択してください。
DVD 再生：DVD
LD、など他の再生可能ディスク：LD

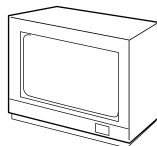
接続例 4 **AV アンプ**		通常の AV アンプやステレオアンプに接続すると、ディスクの音声をより良い音質で再生することができます。

●本機の音声出力端子とアンプの CD、LD、AUX などの音声入力端子を接続します。
（PHONO 端子には接続しないでください）
●本機の映像出力端子とアンプの映像入力端子を接続します。



注意！
☆のケーブルは市販のケーブルをご用意ください。

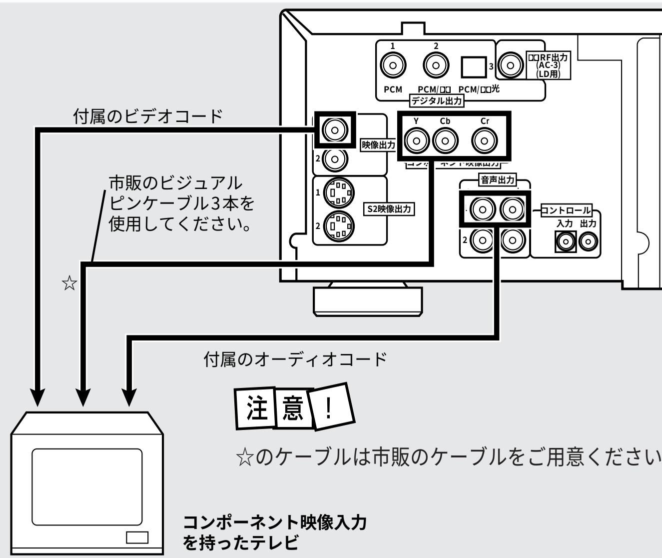
● パイオニアの SR マーク付の機器と接続する場合は
市販のミニプラグ付きケーブル（抵抗なし）を使って、本機のコントロール入力端子と SR マーク付きの機器のコントロール出力端子を接続すると、システムとして本機もコントロールできます。
●システムコントロール接続をすると、本機に向けてリモコンで直接操作することはできません。
●システムとしてコントロールする場合は、デジタル機器しか使用しない場合でも、必ずアンプとオーディオケーブルで接続してください。
●ドルビープロロジックデコーダーを搭載したアンプではサラウンドを楽しむことができます。
●詳しくは接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

接続例 5 **色差入力端子を持ったテレビ**		色差入力を持ったテレビを使うとより良い映像でお楽しみいただけます。

●映像入力として、色差入力端子を持っているテレビと組合せて使用できます。より高画質な再生が楽しめます。
●色差入力端子の名称はテレビによって異なります。
●画像の色が薄くなったり、色相がかわったりしたときはテレビ側で調整してください。

LDの映像はコンポーネント出力端子からは出力されませんので、付属のビデオケーブルで映像出力端子も必ず接続してください。

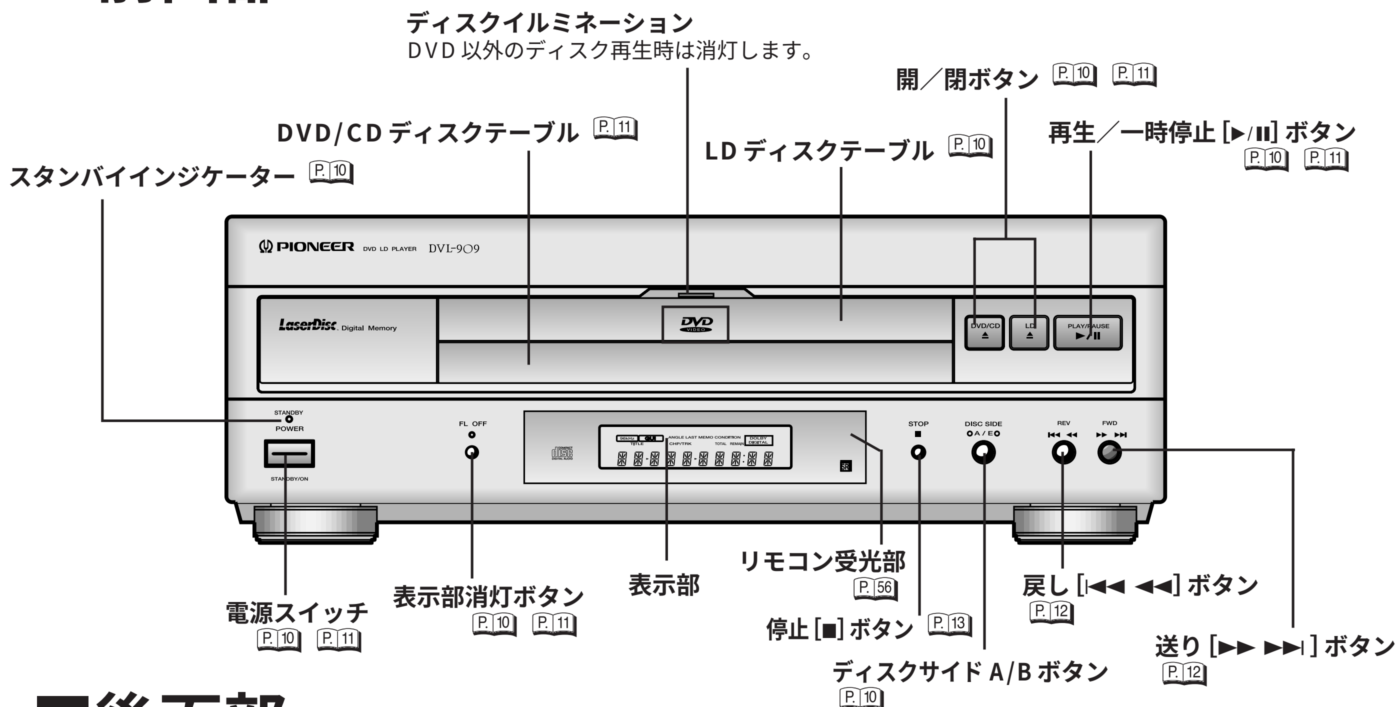
ハイビジョンテレビの色差入力（Y,Pb,Pr）とは接続できません。



注意！
☆のケーブルは市販のケーブルをご用意ください。

各部の名称

■前面部

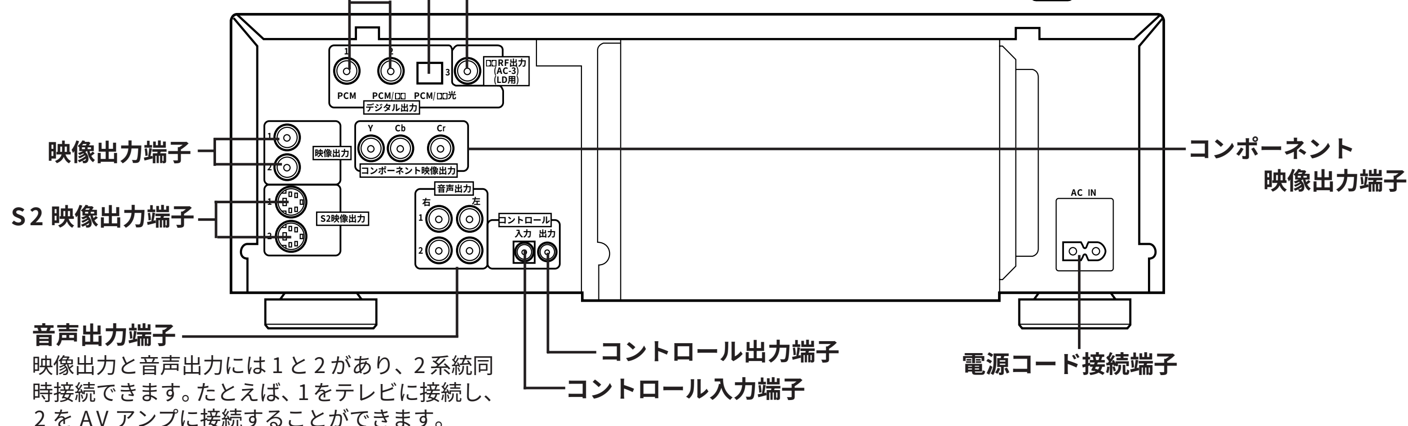


■後面部

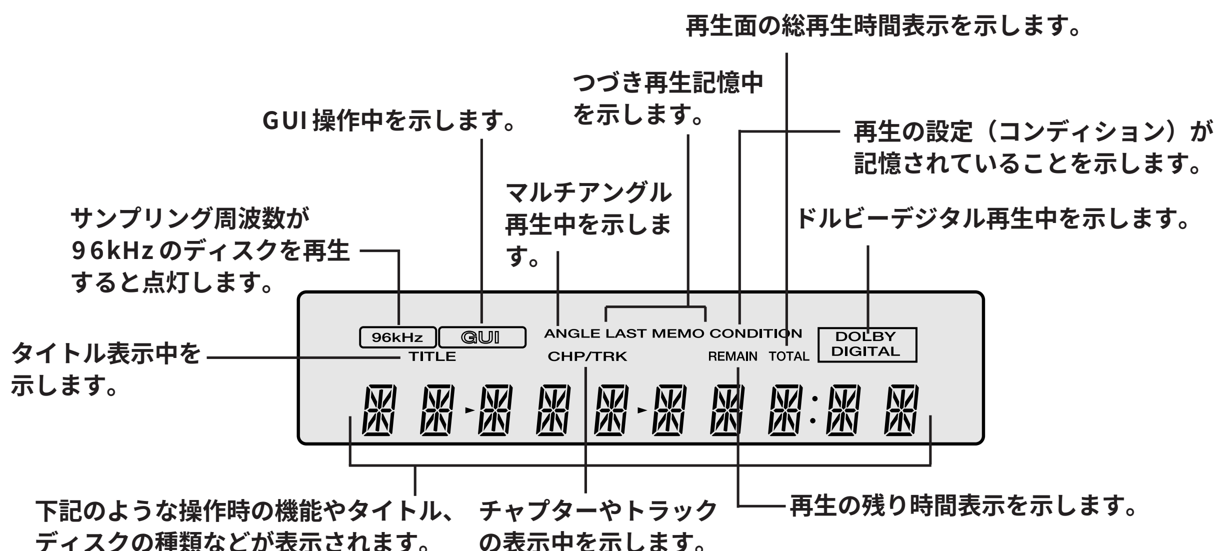
デジタル出力端子〔同軸〕
CD、ビデオ CD、デジタル音声付き LD のデジタル音声をデジタル出力します。デジタル出力端子は組み合わせる機器により、ノイズを発生する場合があります。

お手持ちのアンプ	通常のデジタルアンプ	同軸	PCM 専用端子を接続し、メニューで PCM に設定してください。
		光	光出力を接続しメニューで PCM に設定してください。
	AC-3 対応アンプ	同軸	PCM/DD 端子を接続し、メニューで PCM/DOLBY DIGITAL に設定してください。
		光	光出力を接続しメニューで PCM/DOLBY DIGITAL に設定してください。

お手持ちのアンプが AC-3 に対応していない場合は、出力を PCM 専用に切り換える必要があります。
①アンプのボリュームをしぼる（MIN にする）。
②プレーヤーを停止させ、リモコンの MENU を押す。
●メインメニューが表示されます。
③数字ボタンの 4 を押し、出力設定を選ぶ。
④数字ボタンの 1 を押し、デジタル出力を選ぶ。
⑤数字ボタンの 2 を押し、PCM を選ぶ。



■表示窓



代表表示例

LD: レーザーディスク
CD: コンパクトディスク
CDV: ビデオ付きコンパクトディスク
DVD: DVD
VCD: ビデオ CD
PBC PLAY: ビデオ CD の PBC 再生時
OPEN: ディスクテーブルを開く準備中
CLOSE: ディスクテーブルを閉じる動作中
RDM: ランダム再生
PROGRAM: プログラムモード
PGM: プログラム再生
R_TRK: くり返しモード
R_A: 2 点間くり返しの初めの点
R_AB: 2 点間くり返し
R_TTL: タイトルのくり返し
R_CHP: チャプターのくり返し
R_SID: LD の両面のくり返し
STEREO: ステレオ

PLAY: 再生開始
STOP: 再生停止
PAUSE: 一時停止
NO DISC: ディスク無し
-- OFF --: 電源が切れる
MENU: メニュー状態
TITLE: タイトルメニュー時
SETUP: セットアップメニュー時
COND_MEM: コンディションメモリー
LAST_MEM: ラストメモリー

■リモコン

サブタイトルボタン（SUBTITLE）
音声切換ボタン（AUDIO）
電源ボタン（POWER）
２点間くり返しボタン（REPEAT A-B）
くり返しボタン（REPEAT）
タイトルボタン（TITLE）
ランダムボタン（RANDOM）
プログラムボタン（PGM）
チャプター／タイムボタン（CHP／TM）
数字ボタン（1～9，0，+10）
早戻しボタン（REV◀◀）
再生ボタン（PLAY▶）
ジョグモードボタン（JOG MODE）
ディスクサイドA/Bボタン（DISC SIDE）
ジョグモードインジケーター
ジョグダイヤル

メニューボタン（MENU）
アングルボタン（ANGLE）
開/閉ボタン（OPEN/CLOSE ⏏）
つづき再生ボタン（LAST MEMO）
コンディションボタン（CONDITION）
リターンボタン（RETURN）
画面表示ボタン（DISPLAY）
クリアーボタン（CLEAR）

メニュー操作ボタン
方向ボタン（◀・▶・▲・▼）
エンターボタン（ENTER）
前ボタン（PREV⏮）
次ボタン（NEXT/⏭）

早送りボタン（FWD▶▶）
一時停止ボタン（PAUSE⏸）
停止ボタン（STOP■）
モードボタン（MODE）
シャトルリング

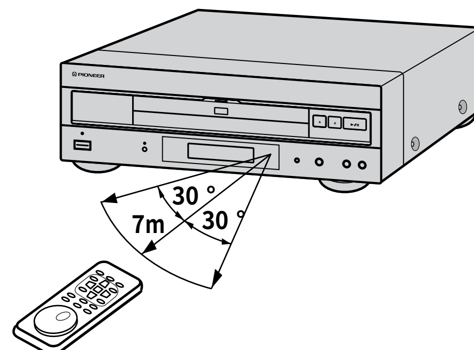
リモコンの操作

リモコンはプレーヤー本体前面部のリモコン受光部に向けて操作します。プレーヤーからリモコンの距離は７m以内、またリモコン受光部を基準にして左右30°までの範囲で操作できます。

●リモコン受光部に直射日光や蛍光灯などの強い光が当たると、誤動作することがあります。

●背面のコントロール入力端子が他の機器に接続されている場合は、その機器のリモコン受光部に向けて操作してください。本機に向けては操作できません。（53ページ参照）

●リモコンで操作するときは、電源ボタンを押して電源を入れてから操作してください。



正しく、末永くお使いいただくために

■再生中は本機を絶対に動かさない

再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。

■本機を移動する場合

本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出し、OPEN/CLOSE ⏏ ボタンを押して、ディスクテーブルを閉じてから、電源ボタンを押して、表示窓の「-OFF-」が消え、スタンバイインジケーターが点灯してから電源コードを抜いてください。

■設置する場所

●組み合わせて使用するテレビやステレオシステムのそはの安定した場所を選んでください。
●テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

■次のような場所は避けてください

●直射日光のあたる所
●湿気の多い所や風通しの悪い場所
●極端に暑い所や寒い所
●振動のある所
●ほこりの多い所
●油煙、蒸気、熱などがあたる所（台所など）

■上に物をのせない

本機の上にものをのせないでください。

■通気孔をふさがない

毛足の長い敷物やベッド、ソファーの上などで使用したり、プレーヤーを布などでくるんで使用しないでください。放熱を妨げ、故障の原因となります。

■熱を受けないように

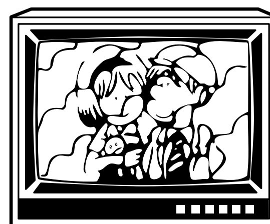
アンプなど、熱を発生する機器の上にのせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱をさけるため、アンプよりできるだけ下の棚（ホコリをかぶらない程度）に入れてください。

■ガラスドア付きラックに入れたときのご注意

ガラスドアを閉めたままリモコンのOPEN/CLOSE ⏏ ボタンを押して、ディスクテーブルを開けないでください。強い力でディスクテーブルの動きが妨げられると、故障の原因になります。

■本機を使わないときは電源を切っておく

テレビ放送やラジオ放送等の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビやラジオをつけると画面にしま模様が出たり、雑音が出る場合がありますが、本機やテレビ、ラジオの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。



製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は、差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

故障？ちょっと調べてください

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、プレーヤー以外の原因も考えられます。ご使用のテレビやステレオコンポーネント、および同時に使用している電気器具も合わせてお調べください。下記の項目をチェックしても直らない場合はお買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

	症　状	考えられる原因	参照ページ
操作	1. ディスクテーブルを閉めても出てきてしまう。	●ディスクが極端に汚れている。	7 ページ
		●ディスクがディスクテーブルに正しくセットされていない。	8 ページ
		●リージョン No. が違う。	60 ページ
		●プレーヤーの内部が結露している。	7 ページ
	2. 再生できない	●PAL 方式や SECAM 方式のディスクは再生できません。	8 ページ
	3.DVD 再生中に画像が乱れる	●本プレーヤーはアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。 ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクを再生した場合、ＴＶによっては一部画像に横縞が入る等の症状がでるものもありますが、故障ではありません。	
	4. DVD映像をＶＴＲに録画したり、VTR を通して再生すると再生画像が乱れる	●本プレーヤーはアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。 ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクを VTR を通して再生したり、VTR に録画して再生するとコピープロテクトシステムにより正常に再生されません。	50 ページ
	5. マークが画面に出る。	●ディスク自体が禁止している操作です。	
	6. 画面が止まり、操作ボタンを受け付けない。	●一度停止（■ボタンを押す）してから、もう一度再生してください。	
	7. 白黒画面になっている。	●出力設定の映像がコンポーネント出力になっている。	46 ページ
リモートコントロール	8. リモコンで操作できない。	●背面パネルのコントロール入力端子を使用している。	53 ページ
		●プレーヤーと離れすぎている。または、リモコン受光部との角度がありすぎる。	56 ページ
		●リモコンの電池が消耗している。	
	9. テレビなどが誤動作する。	●ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコン操作により誤動作するものがある。	
音声	10. 音が出ない。音が歪む。	●接続プラグの差し込みかたが不十分、または外れている。	
		●接続プラグや端子が汚れている。	
		●ステレオアンプの PHONO 入力端子と接続している。	
		●音声ケーブルの接続が間違っている。	
		●一時停止になっている。	
		●ステレオアンプの操作が間違っている。 （とくに、入力の選択が正しくされているか（CD、LD 等）確認してください。）	
		●デジタル出力の設定が 96kHz になっている。 ディスクによってはデジタル出力を禁止しているものがあります。	
	11.DVD の音が小さい	●DVDの音が他のディスクより小さく聞こえることがありますが、ディスクの記録方式の違いによるもので、故障ではありません。	

ご注意：静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。

用語

Dolby Digital（AC-3）*
ドルビーデジタル（AC-3）は、最大 5.1 チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして装備されているドルビーデジタルと同一のシステムです。



ドルビーデジタル（AC-3）ディスクを楽しむには、DVD では本機のデジタル出力 PCM/DD 端子（同軸または光どちらでも可）をアンプやプロセッサーのデジタル入力 AC-3/PCM 端子へ接続することが必要です。LD では本機の AC-3 RF出力端子をアンプやプロセッサーの AC-3 RF入力へ接続することが必要です。

Virtual Dolby Surround** TruSurround
２つのスピーカーで仮想的にサラウンドを楽しむことができます。33 ページ「立体感のある音場に切り換える」でオンを選んでください。

PCM
Pulse Code Modulationの略でデジタル音声のことをいいます。CD や LD、DVD のデジタル音声が PCM です。

タイトルナンバー
映画などでいうタイトルのことです。DVDは大容量なので、1 枚のディスクに複数の映画を記録することができます。たとえば、異なる 3 つの映画が記録されていますと、タイトル 1、タイトル 2、タイトル 3 に分けられます。タイトルナンバーを選んで再生する操作ができます。

チャプターナンバー
ディスクのタイトル内をいくつかのセクションで区切り、番号付けしたナンバーです。本の“章”番号に相当します。このチャプターナンバーが記録されていれば希望のセクションを素早く見つけるチャプターサーチなどの操作ができます。

フレームナンバー
標準ディスク CAV のすべての画面（フレーム）ごとに記録された番号です。希望のシーンをこのフレームナンバーで探すフレームサーチなどの操作ができます。

タイムナンバー
ディスクのタイトル内の最初からの再生経過時間です。希望のシーンをタイムナンバーで探すタイムナンバーサーチなどの操作ができます。

LD（レーザーディスク）
レーザーディスクには、信号の記録方式により標準ディスク（CAV）と長時間ディスク（CLV）があります。

CAV
ディスクのジャケット、またはレーベルに〔標準ディスク／CAV〕、または〔Standard Play〕と表示されています。

CLV
ディスクのジャケット、またはレーベルに〔長時間ディスク／CLV〕、または〔Extended Play〕と表示されています。

デジタル音声付きレーザーディスク
アナログ音声信号に加えて、デジタル音声信号も合わせて記録されたディスクです。レーザーディスクの高品質の映像とデジタルサウンドが同時に楽しめます。



デジタル音声付きマルチオーディオディスク
デジタル音声、アナログ音声それぞれに異なった内容の音声が記録されています。



デジタル音声、アナログ音声を切り換えて、それぞれの音声をお楽しみいただけます。

グラフィックスディスク
映像や音声信号以外にサブコードというデータが記録されています。このデータにグラフィックスが記録されています。
LD グラフィックスディスク：サブコードに映画の台詞や歌の歌詞などが記録されています。
ディスクのジャケット、またはレーベルに右のマークマークが表示されています。



CD グラフィックスディスク：カラオケ用の歌詞やカラオケ演奏を盛り上げるグラフィックス（絵）などが記録されています。
ディスクのジャケット、またはレーベルに右のマークマークが表示されています。



* ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
ドルビー、DOLBY、AC-3、及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

** バーチャル技術として、SRS 社の TruSurround 方式 TruSurround を採用しています。TruSurround は SRS Labs,Inc. の商標です。SRS と SRS のマークは米国およびその他数カ国における SRS Labs,Inc. の登録商標です。
TruSurround の技術は、SRS Labs,Inc. によって使用許諾が登録されています。

TOC

音声信号以外のTOC（Table（テーブル） Of（オブ） Contents（コンテンツ））という情報がディスクの始めの部分に記録されています。その名のように、本の目次に相当し、曲数や演奏時間の情報が入っています。
●LDディスクにもTOCが記録されているものがあります。
●TOC付きLDとCDVは、同じ「光学式デジタル音声付きビデオディスクシステム」の仲間です。

ビデオCD

MDと同等の音質とVHS並みの画質で動画再生が楽しめるディスクです。デジタル信号の圧縮技術（MPEG1方式）により最大74分のデジタル画像と音声が連続再生できます。ビデオCDにはメニュー画面で見たい場面を選んだり、静止画を再生できる“プレイバックコントロール（PBC）”対応のディスクがあります。

プレイバックコントロール(PBC)

ビデオCD（バージョン2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号です。
PBC付きビデオCDに記録されているメニュー画面を使って簡単な対話形式のソフトや検索機能のあるソフトの再生が楽しめます。
また高精細／標準の静止画も楽しむことができます。

高精細静止画

ビデオCDの中に高精細な静止画が入っている場合は、動画の4倍の解像度で静止画を楽しむことができます。

スクリーンセーバー

同じ静止画を長時間表示し続けると画面に焼きつき現象がでることがあります。
これを避けるための機能です。

マルチアングル

通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ていますので、画像は撮影しているカメラの位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは数台のカメラで同時に撮影し、その中の1つを番組のディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っているわけですが、すべてのカメラの画像が同時に送られて視聴者側で視点（カメラ）を選べれば、見たいところが見れるわけです。DVDには同時に複数のカメラで撮影したすべての画像が記録されているものがあり、プレーヤー側で視点を変えられるものがあります。これをマルチアングルディスクといいます。

アスペクト比

テレビ画面の横と縦の比率をいいます。通常のテレビでは、4：3ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16：9の比率となっています。横に広がった臨場感溢れる映像が楽しめるようになっています。

パレンタルレベル

英語の綴りでは、PARENTAL（パレンタル）です。これは、PARENT（ペアレント）（親、両親）からきています。これから解るように、親が、子供に見せたくない映像に制限が付いているものです。

コンディションメモリー

コンディションとは、状態などをいいます。本機では、再生しているときのさまざまな状態を記録しておき、再び同じディスクを楽しむときに、再設定をせずに楽しめる機能です。

言語字幕

映画などでおなじみの字幕の言語です。DVDでは字幕の言語を最大32カ国分記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

リージョンNo.

DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに再生可能地域番号（リージョンNo.）が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。
本機のリージョンNo.は後面部に表記されています。

再生可	再生不可
プレーヤー　ディスク	プレーヤー　ディスク
プレーヤー 2 ← ディスク 1 2 3 4	プレーヤー 2 ✕ ディスク 1 3 4 5
プレーヤー 2 ← ディスク 1 2 4	プレーヤー 2 ✕ ディスク 1 3

光デジタル出力

音声は通常、電気信号に変えて電線でプレーヤーからアンプなどの他の機器に伝達しますが、これを光ファイバーを使ったデジタル信号に変えて伝達できるようにしたものが光デジタル出力です。（アンプなどの受け取り側は光デジタル入力になります。）
本機は光デジタル出力の設定を変更できます。
・PCM/DD：ドルビーデジタル（AC-3）デコーダを搭載したアンプのドルビーデジタル（AC-3）光入力端子と接続する場合に設定する。
・PCM：通常のアンプ、ドルビープロロジックアンプなどの光入力端子と接続する場合に設定する。

ダイナミックレンジ

ひずみ無く信号を伝送、変換する最大のレベルと雑音その他、機器の性質で制限される最小レベルの差をいいます。単位はデシベル（dB）を使います。

保証とアフターサービス

保証書（別添）
保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談は
お買い上げの販売店または、最寄りの当社サービスステーションをご利用ください。
所在地、電話番号は別添の「ご相談・修理窓口のご案内」をご覧ください。

修理を依頼されるときは
58 ページに従って調べていただき、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または、お近くのパイオニアサービスステーションにご連絡下さい。

連絡していただきたい内容について：
- **品名　DVD LD プレーヤー**
- **品番　DVL-909**
- **お買上げ日**
- **故障の状況「できるだけ具体的に」「ディスクのタイトル」**
- **ご住所　「付近の目印も合わせてお知らせください」**
- **お名前**
- **電話番号**
- **訪問ご希望日**

保証期間中は：
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。

保証期間が過ぎているときは：
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

仕様

一般
形式 .... DVD、LD、ビデオ CD およびコンパクトディスクデジタルオーディオシステム
電源 .... AC100V、50/60Hz
消費電力 43W
質量 8.8kg
外形寸法 .. 420（幅）× 463 ×（奥行）× 146（高さ）mm
許容動作温度 .... ＋ 5℃〜＋ 35℃
許容動作湿度 .... 5%〜85%（結露のないこと）

S 2 映像出力 <2 系統 >
Y 出力レベル .... 1Vp-p（75 Ω）
C 出力レベル .... 286mVp-p（75 Ω）

映像出力 <2 系統 >
出力レベル .... 1Vp-p（75 Ω負荷時、同期負）
出力端子 .... ピンジャック

コンポーネント映像出力 <1 系統 >
（Y、Cb、Cr）
出力レベル .... Y : 1.0Vp-p、75 Ω同期負
Cb、Cr : 0.7Vp-p、75 Ω
出力端子 .... ピンジャック

音声出力＜ 2 系統＞
出力レベル
アナログ音声出力 .... 200mVrms（1KHz、40%）
デジタル音声出力 .... 200mVrms（1KHz、− 20dB）
チャンネル数 .... 2 チャンネル

デジタル音声特性（DVD　fs=48 kHz時）

周波数特性	4Hz〜22kHz（DVD） 4Hz〜20kHz（LD、CD）
SN 比	115dB（EIAJ）
ダイナミックレンジ	98dB　（EIAJ）
ワウ・フラッター	測定限界（± 0.001%W.PEAK） 以下　（EIAJ）

LD は EIAJ に準拠

その他の端子
光デジタル出力（PCM/DD（光））........................ 光コネクター
同軸デジタル出力（PCM/DD）........................ ピンジャック
同軸デジタル出力（PCM）........................ ピンジャック
コントロール入力／出力 .... ミニジャック（3.5 φ）
ドルビーデジタル RF 出力 .... ピンジャック

付属品
リモコンユニット 1
単 4 形乾電池（R03）........................ 2
オーディオコード 1
ビデオコード 1
電源コード 1
取扱説明書、安全上のご注意、保証書、
ご相談窓口・修理窓口のご案内 .... 各 1

●本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

索引

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

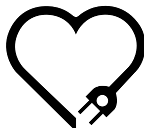
ら行

わ行

アルファベット

お客様ご相談窓口（修理に関しては別添『ご相談窓口･修理窓口のご案内』）参照

お客様相談センター		●03－3491－8181		
技術相談窓口	◎札　幌	●011-644-4779	◎大　阪	●06-353-3705
	◎仙　台	●022-375-4417	◎広　島	●082-228-2239
	◎名古屋	●052-532-1141	◎福　岡	●092-441-8076



長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか
- **電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。**
- **電源コードにさけめやひび割れがある。**
- **電気が入ったり切れたりする。**
- **本体から異常な音、熱、臭いがする。**



すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または当社サービスステーションに点検（有料）をご依頼ください。

お客様メモ

●おぼえのため記入されますと便利です。

ご購入店名	住所 電話番号	お近くのご相談窓口	住所 電話番号
ご購入年月日	年　月　日	型　番	この機種はDVL-909です



この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

パイオニア株式会社 153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<98C00FF0C01>　<VRA1140-B>